

内容	就職活動状況の定点調査
実施期間	2013年3月27日～2013年3月31日まで
調査対象	2014年卒業予定の全国大学3年生及び院1年生
調査方法	Web上のアンケートフォームより入力
モニター属性データ	

カテゴリ	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
文系男子	1,007	303	30.1%
理系男子	1,204	415	34.5%
文系女子	1,009	296	29.3%
理系女子	1,210	359	29.7%
総計	4,430	1,373	31.0%

カテゴリ	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
関東地区	1,740	554	31.8%
関西地区	1,060	328	30.9%
東海地区	370	109	29.5%
上記以外のエリア	1,260	382	30.3%

カテゴリ	モニター登録数	有効回答数	有効回答率
文系グループ1	214	87	40.7%
文系グループ2	362	127	35.1%
文系グループ3	625	206	33.0%
文系グループ4	721	179	24.8%

カテゴリ	モニター登録数	有効回答数	有効回答率	
学部	理系:機電系	194	47	24.2%
	理系:情報系	312	74	23.7%
	理系:土木・建築系	174	37	21.3%
	理系:化学系	307	82	26.7%
	理系:その他理系	532	114	21.4%
院	理系:機電系	200	89	44.5%
	理系:情報系	128	57	44.5%
	理系:土木・建築系	105	37	35.2%
	理系:化学系	228	98	43.0%
	理系:その他理系	328	139	42.4%

- * 文系グループ1: 全国旧帝国大
- * 文系グループ2: 早・慶・上智・ICU・関関同立
- * 文系グループ3: 法政・明治・立教・青山学院・中央・学習院・南山・西南学院・全国国公立大
- * 文系グループ4: 上記以外の全国私立大

【3月のTOPICS】

～約8割が1次面接を経験、5人に1人は最終面接も～

就職活動が早くも佳境に入ってきた。前月に引続き早いペースで選考が進み、77.1%の学生が1次面接を経験している。さらに最終面接を受けた学生は20.6%、選考を受けた社数の平均も前年比1.6社増の4.8社となった。一番注力している活動内容は前月の「エントリーシート対策」から「面接対策」が中心となり、志望企業の絞り込みには停滞がみられるものの、前月の活動量を維持したままの活発な姿勢が見られる。前年よりも早目に企業の選考が進む傾向にある中で、4月には一気に選考結果が判明し、新たに企業選びを始める学生と、複数の内々定を受けた上で選択する学生に二分されることになると予想される。企業側も母集団の再構築の機を逃さないように早めの再アプローチをするとともに、受験している学生に対してはより一層志望意欲を高めるためのフォローが求められるだろう。

「その他」エリア学生の3月交通費・宿泊費、「関東」エリア学生の倍以上(P.2)

女子学生で「中小企業中心」の活動への移行が進む(P.5)

理系学生の活動状況: 学科系統別の工場見学平均社数、トップは機電系で3.0社(P.7)

エントリーシートの提出15.6社、通過9.0社、いずれも前年同月比超える(P.8)

WEBセミナーへの平均参加回数3.8社、参加して良かった理由は「気兼ねなさ」(P.13)

集計方法

全体の回答率を算出するにあたり、有効回答数の文理男女構成比を、2014年3月卒業予定の大学生・大学院生の比率と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は2012年公表の平成24年度学校基本調査より、大学3年生・院1年生の在籍数から男女比を参照している。文理区分については文部科学省・厚生労働省共同調査による「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」の分類に準拠。

ウエイトバック集計とは
アンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせて重み付けして集計すること。

各種調査はWEB上でも順次公開中！

新卒採用人事担当者のための採用支援サイト 採用サポネット <http://saponet.mynavi.jp/>

本資料について

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社 マイナビ 就職情報事業本部 HRリサーチセンター

TEL: 03(6267)4571 / E-mail: hrrc@mynavi.jp

INDEX

【定点調査】 1:3月の活動状況2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

- (1) アンケート回答者全体の平均エントリー社数
- (2) アンケート回答者全体のセミナー参加・エントリーシート提出状況
- (3) 3月の就活費用

3:自己分析・業界研究・仕事(職種)研究・企業研究について

- (1) 自己分析の進捗状況、業界・職種・企業の絞込み状況
- (2) 自己分析の方法を何から学んだか・業界研究・仕事(職種)研究・企業研究に用いたもの

4:活動の感触・就職観

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| (1) 「内定」を取る自信 | (5) 就職活動で不安に思う要因 |
| (2) 先輩と比較して自分たちの就職活動は | (6) この時期いちばん注力している就職活動の内容 |
| (3) 1日のうち就職活動に費やしている時間 | (7) 現在の活動は【中小企業中心or大手企業中心】 |
| (4) 現時点で不安があるか | |

5:【理系】3月の活動状況

- | | |
|--------------------|------------------------------|
| (1) 理系学生の活動状況 | (5) 現在の専攻を就職後も活かしたい割合(0~10割) |
| (2) 企業への応募方法 | (6) 工場・研究施設見学に参加して志望度は変化したか |
| (3) 現時点での1日の時間の使い方 | (7) 工場見学や研究施設見学に行った社数 |
| (4) 自身の研究内容への興味は | |

【追加調査】 6:エントリーシートについて

- | | |
|--|---|
| (1) 今までに入手、提出、通過したエントリーシートの社数(平均) | (7) エントリーシートの枚数が複数ある場合、早く提出した方が有利だと思うか |
| (2) WEBと紙、どちらが多かったか | (8) 記載したエピソード・題材(複数回答) |
| (3) WEBと紙、どちらが良いか | (9) エントリーシートで書くのに最も苦労した設問 |
| (4) エントリーシートを入手した第一志望群の企業で、提出しなかったことがあるか | (10) 苦労した原因・理由 |
| (5) その理由 | (11) エントリーシートの通過連絡から、次の選考が実施されるまでの期間(平均) |
| (6) 提出しやすい時期 | (12) エントリーシートを提出してから次の選考までの間に、接触の機会を設けられた経験はあるか |

7:入社案内(パンフレット)について

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| (1) 入社案内の入手経路(複数回答) | (4) 入社案内を見て志望度が変わったことがあるか |
| (2) 良いと思う入社案内のサイズ | (5) (変わった人は)志望度がどのように変わったか |
| (3) 良いと思う入社案内のページ数 | (6) 入社案内でよく見る情報 |

8:企業の採用ホームページについて

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| (1) 志望している企業群の採用HPを見る頻度 | (6) 適当だと思う動画コンテンツの長さ |
| (2) 志望企業群のHPの1回あたりの閲覧時間(平均) | (7) 採用HPを見て志望度が変わった経験 |
| (3) 志望企業のHPを見る媒体 | (8) それはどちらの方向に変わったことが多いか |
| (4) 採用HPはスマホ最適化されていた方がいいか | (9) 採用HPでよく見る情報(複数回答) |
| (5) 採用HPで動画コンテンツを見たことがあるか | |

9:WEBセミナーについて

- | | |
|----------------------------|-------------------------------|
| (1) WEBセミナーに参加した経験はあるか | (6) WEBセミナーに参加して、よかった理由(複数回答) |
| (2) 参加しやすい開催時間帯 | (7) 参加後、次の選考ステップに進んだか |
| (3) 初めてWEBセミナーに参加した時期 | (8) WEBセミナーを知っていたか |
| (4) WEBセミナーに参加した回数(平均) | (9) WEBセミナーに参加しなかった理由 |
| (5) WEBセミナーに参加したきっかけ(複数回答) | (10) 参加してみたいと思える内容 |

【特別調査】 10:海外留学について

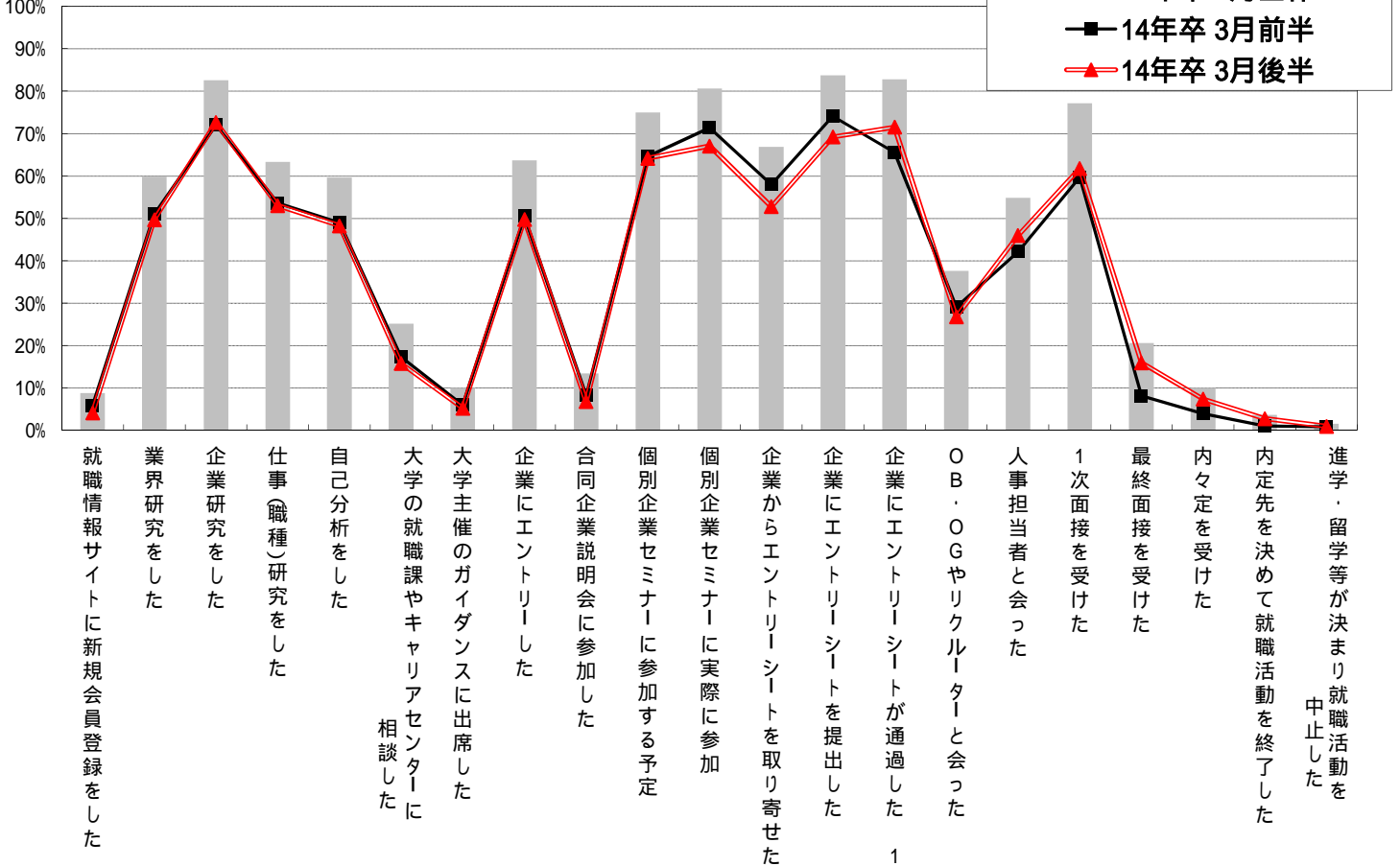
- (1) 海外留学をした、もしくは検討したことがあるか
- (2) 留学した際、もしくは留学を検討した時に感じた主な障害は

調査結果は、小数点第2位を四捨五入しております。そのため、グラフ及び表の和が100.0%にならないものがございます。予めご了承ください。

1.3月の活動状況

2月に引き続き「企業研究をした」「個別企業セミナーに実際に参加」「企業にエントリーシートを提出した」などの項目で8割以上の高い活動状況が見られるとともに、「エントリーシートが通過した」が前月比13.8pt増の82.8%となり、多くの学生がステップを次に進めているようだ。これに合わせるように「1次面接を受けた」が前月比18.7pt増の77.1%まで進捗してきている。3月後半では「最終面接を受けた」が15.9%、「内々定を受けた」が7.4%と前半を大きく上回った。4月を前に佳境を迎えている学生が増えてきている。

3月の活動状況



	14年卒			13年卒 ²	
	3月全体	3月前半	3月後半	3月前半	3月後半
就職情報サイトに新規会員登録をした	8.7%	5.8%	4.1%	1.8%	2.1%
業界研究をした	59.8%	51.0%	49.7%	55.3%	54.0%
企業研究をした	82.6%	72.0%	72.6%	80.0%	80.0%
仕事(職種)研究をした	63.3%	53.6%	53.0%	62.6%	64.3%
自己分析をした	59.6%	49.0%	48.2%	56.1%	55.7%
大学の就職課やキャリアセンターに相談した	25.1%	17.3%	15.8%	20.3%	19.2%
大学主催のガイダンスに出席した	10.0%	6.0%	5.2%	7.7%	6.6%
企業にエントリーした	63.7%	50.4%	49.7%	50.4%	48.9%
合同企業説明会に参加した	13.4%	8.2%	6.8%	8.5%	4.8%
個別企業セミナーに参加する予定	74.9%	64.6%	64.2%	73.5%	67.3%
個別企業セミナーに実際に参加	80.6%	71.3%	67.1%	73.2%	66.0%
企業からエントリーシートを取り寄せた	66.9%	58.0%	52.8%	52.2%	47.7%
企業にエントリーシートを提出した	83.7%	74.1%	69.2%	74.8%	68.8%
企業にエントリーシートが通過した ¹	82.8%	65.6%	71.5%	-	-
OB・OGやリクレーターと会った	37.6%	29.0%	26.8%	20.9%	18.8%
人事担当者と会った	54.9%	42.1%	45.9%	48.7%	47.7%
1次面接を受けた	77.1%	59.6%	61.8%	60.6%	59.2%
最終面接を受けた	20.6%	8.1%	15.9%	10.4%	13.4%
内々定を受けた	10.0%	3.9%	7.4%	4.5%	4.9%
内定先を決めて就職活動を終了した	3.6%	1.0%	2.7%	0.6%	1.5%
進学・留学等が決まり就職活動を中止した	1.5%	0.8%	0.9%	1.0%	1.2%

1 2014年卒から項目追加

2 2014年卒より調査方法を変更したため、2013年卒の数値は参考値としてご覧ください。

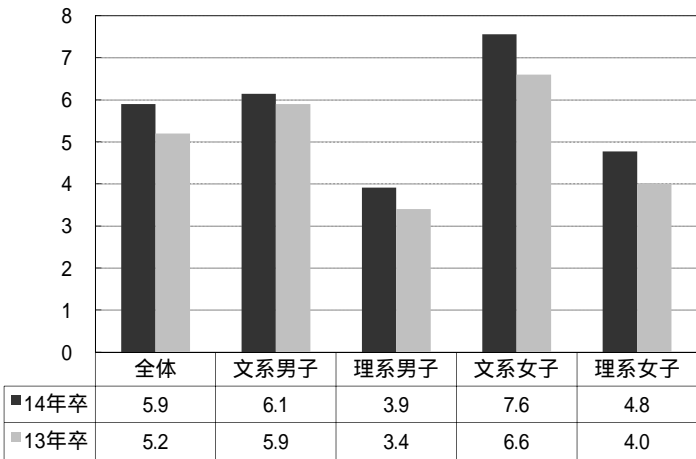
2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況、就活費用

3月の平均エントリー数は前年同月比0.7社増の5.9社となり、12月から3月までの累計エントリー社数は前年同月比6.8社増の73.0社となった。その他の活動量ではエントリーシートの通過社数も前月比2.0社増の4.5社と順調に増えてきており、それに伴い「選考を受けた社数」が前年比1.6社増の4.8社となっているのが目立つ。特に文系男子は5.5社、文系女子は5.1社といずれも全体平均を上回っており、文系学生は既に選考のピークを迎えている模様だ。

また、3月の就活費用では全体の平均で「交通費・宿泊費」が21,418円、「その他(スーツや書籍など)」が4,223円となり、12月から徐々に「交通費・宿泊費」が増えてきている。前月に引き続き、地域間での費用にも差が出てきており、関東・関西・東海以外の「その他」エリアでは「交通費・宿泊費」が31,756円と「関東」エリアの倍以上の金額に膨れ上がってきている。前述のとおり1次面接から最終面接まで選考に参加する機会が増えてきているためと推測される。

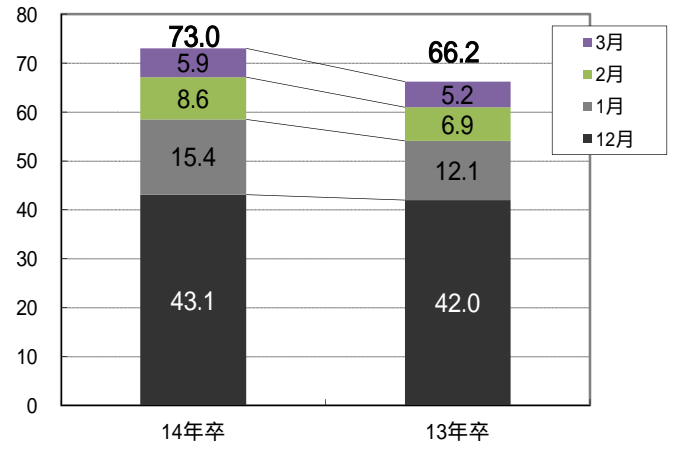
3月平均エントリー数

【単位:社】

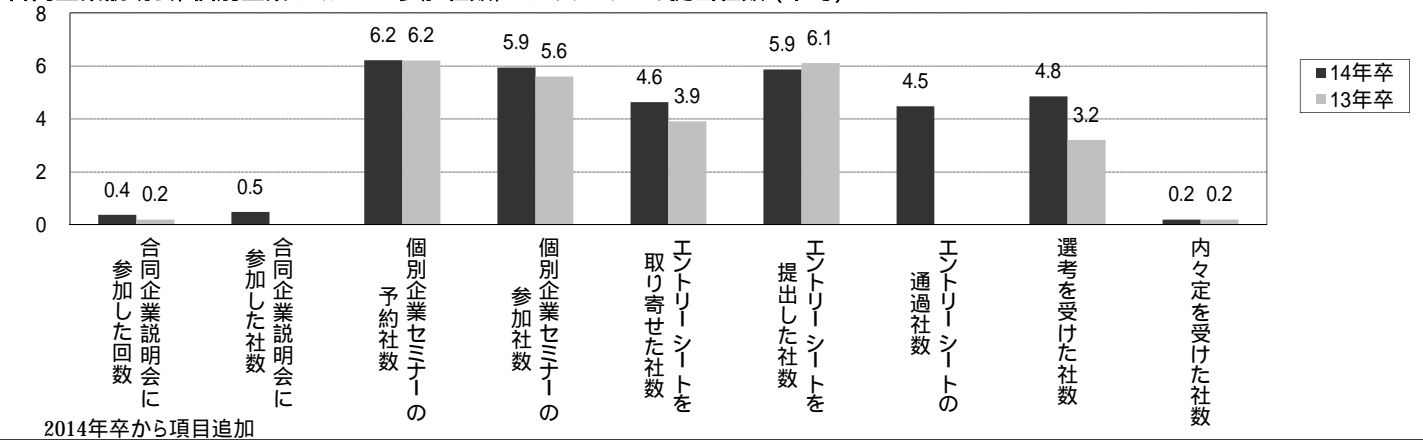


3月までの累計エントリー社数 (平均)

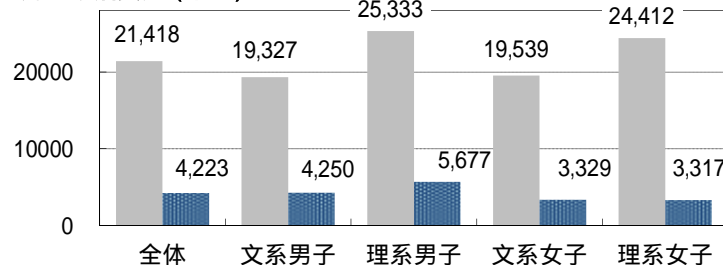
【単位:社】



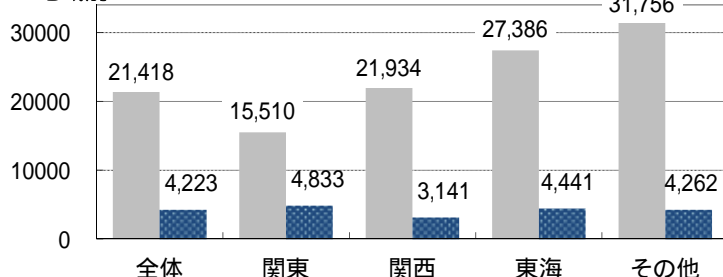
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、エントリーシート提出社数 (平均)



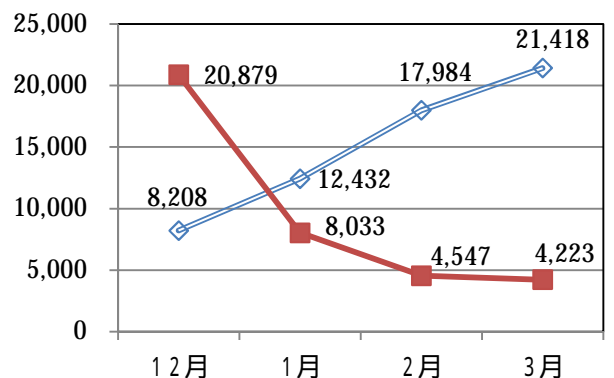
3月の就活費用 (平均)



<地域別>



交通費・宿泊費 (平均) / その他(スーツや書籍など) (平均)

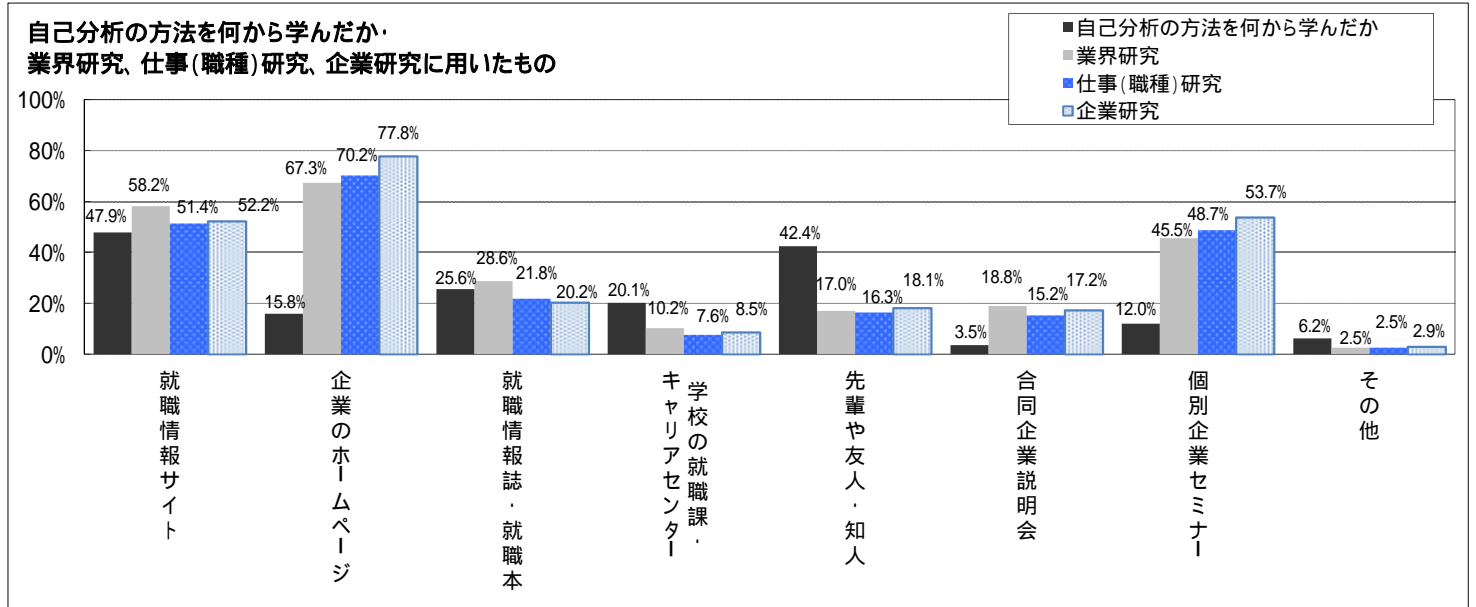
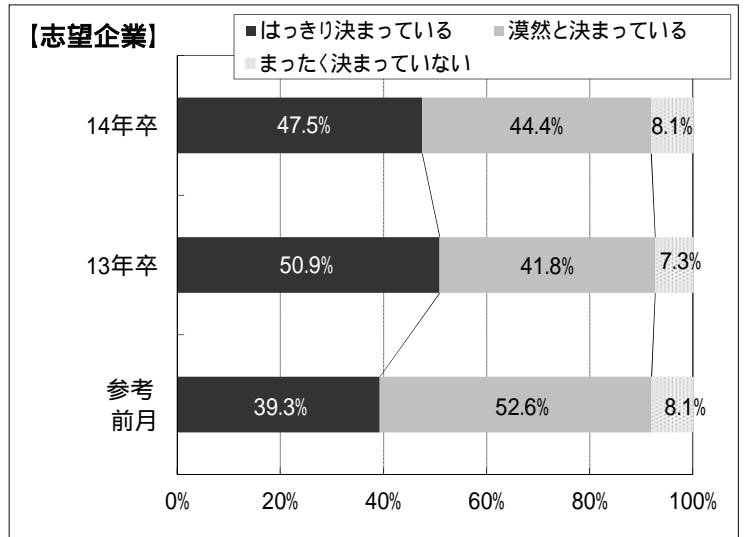
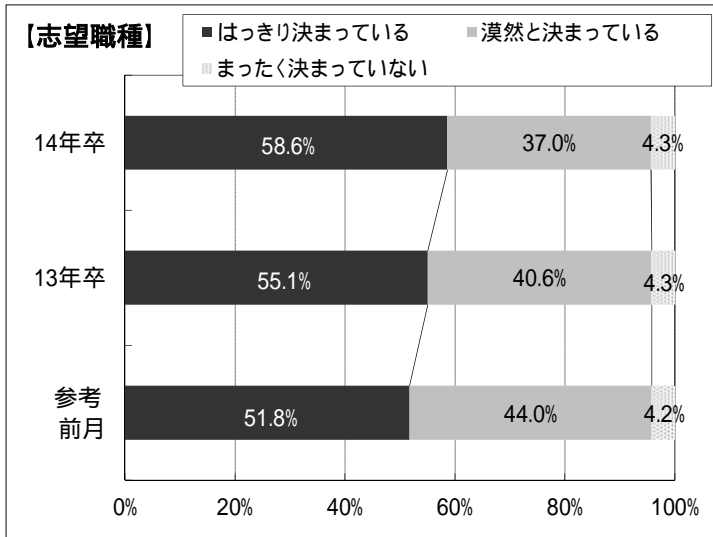
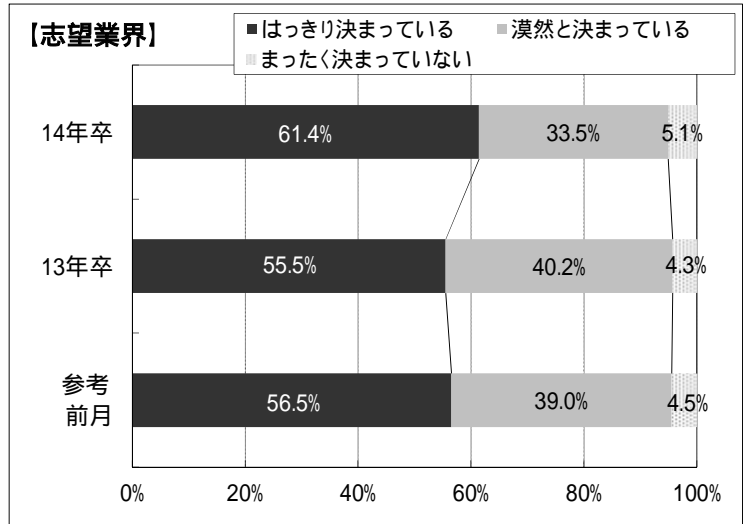
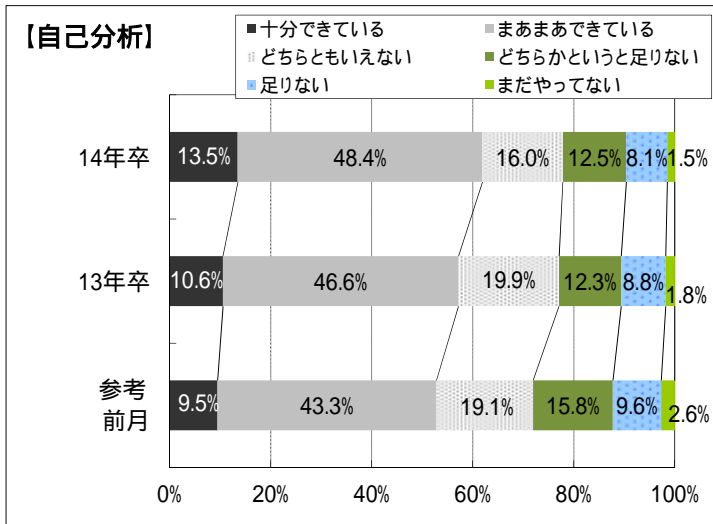


【単位:円】

3: 自己分析・業界研究・仕事(職種)研究・企業研究について

自己分析についてはこれまでに引き続き順調に進んでいるようで、「(十分+まあまあ)できている」が前月比9.1pt増の61.9%となった。志望業界、志望職種の絞り込みについても順調に進捗してきているが、志望企業の絞り込みでは「はっきり決まっている」が前年比3.4pt減の47.5%と進捗が止まってしまっている。選考のピークに入るタイミングが前年よりも早かったために、志望企業の絞り込みが遅れているのだろうか。自己分析、業界研究、仕事(職種)研究、企業研究に用いたものでは前月よりも個別企業セミナーの回答割合が下がり、就職サイトの回答割合が増えている。例年よりも選考結果が早めに出て再度企業選びをしているため、就職サイト利用が増えていることも考えられる。

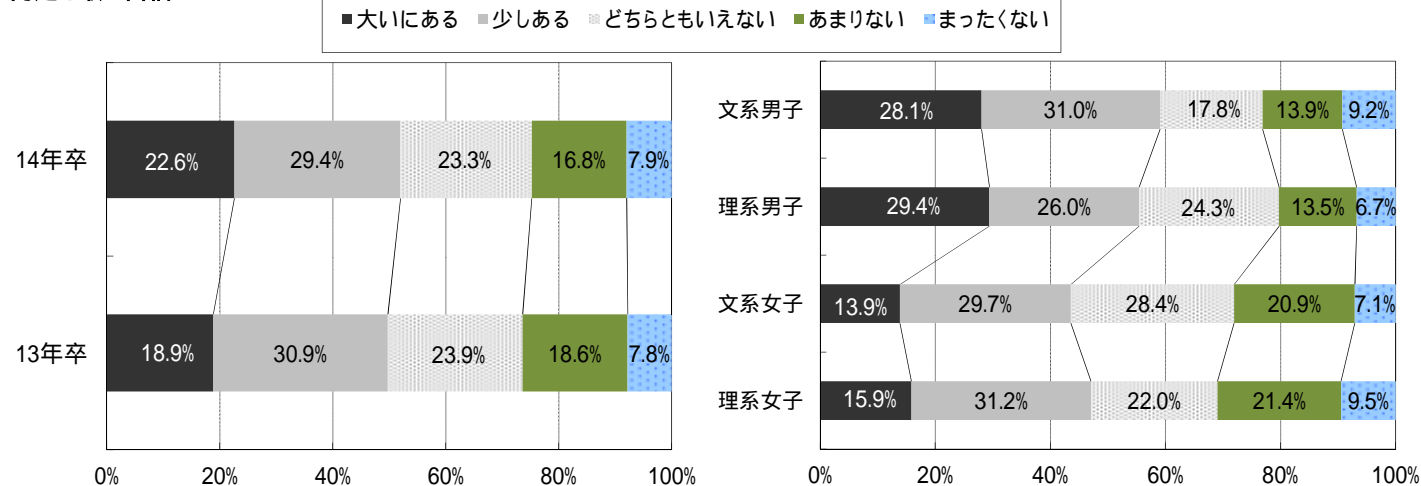
自己分析の進捗状況、業界・職種・企業の絞り込み状況



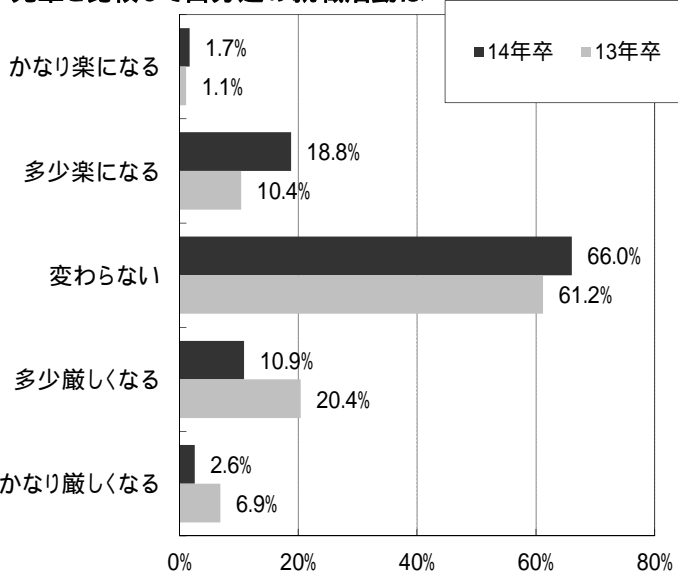
4: 就職活動の感触・就職観

内定を取る自信を聞いてみると「(大いに+少し)ある」が全体で前月から2.3pt増の52.0%となり過半数を超えた。選考が本格化する中で内定への具体的な手応えを感じている学生も多いようだ。一方で自信が「(あまり+まったく)ない」と回答した学生に理由を聞いてみると、エントリーシートや面接を通過できないことを挙げる声が多かった。1日のうち就職活動に費やしている平均時間では前月比0.6時間減の4.1時間となり、今期で初めて前月を下回った。少数ではあるが内定が出はじめ、活動量を減らした学生が増えてきたと推察される。

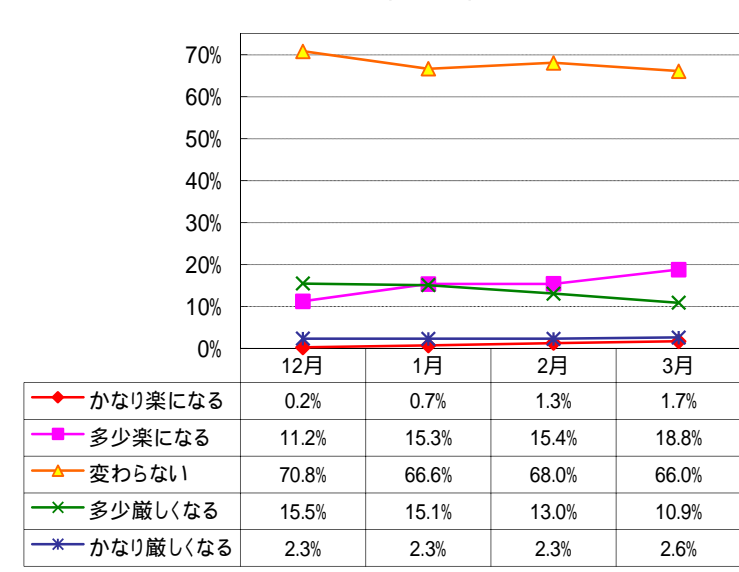
内定を取る自信



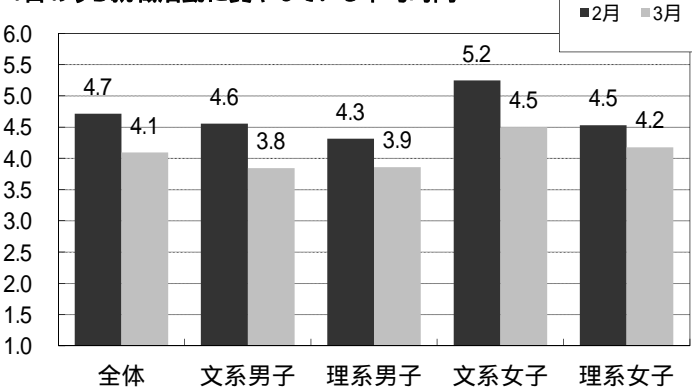
先輩と比較して自分達の就職活動は



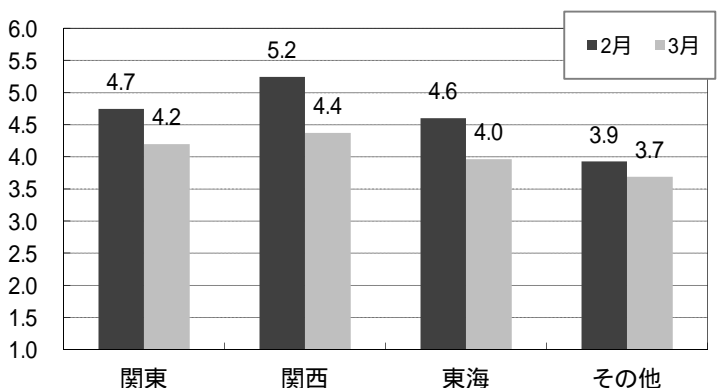
先輩と比較して自分達の就職活動は(12月～)



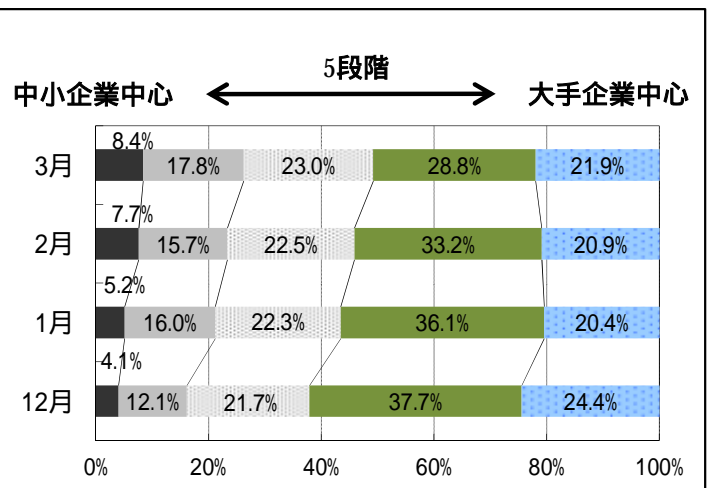
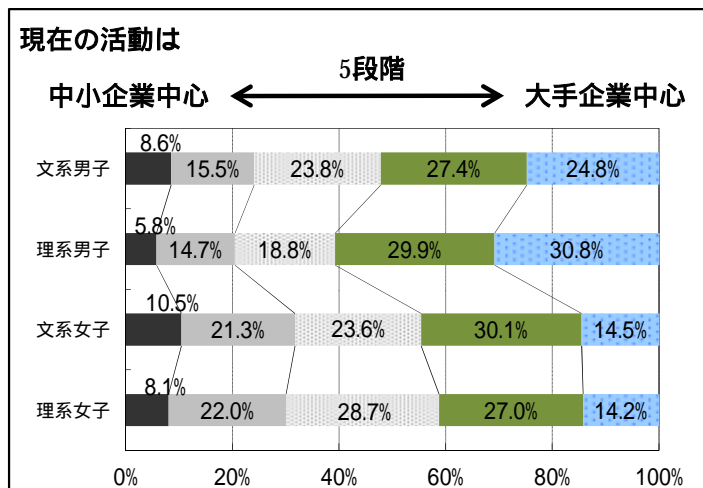
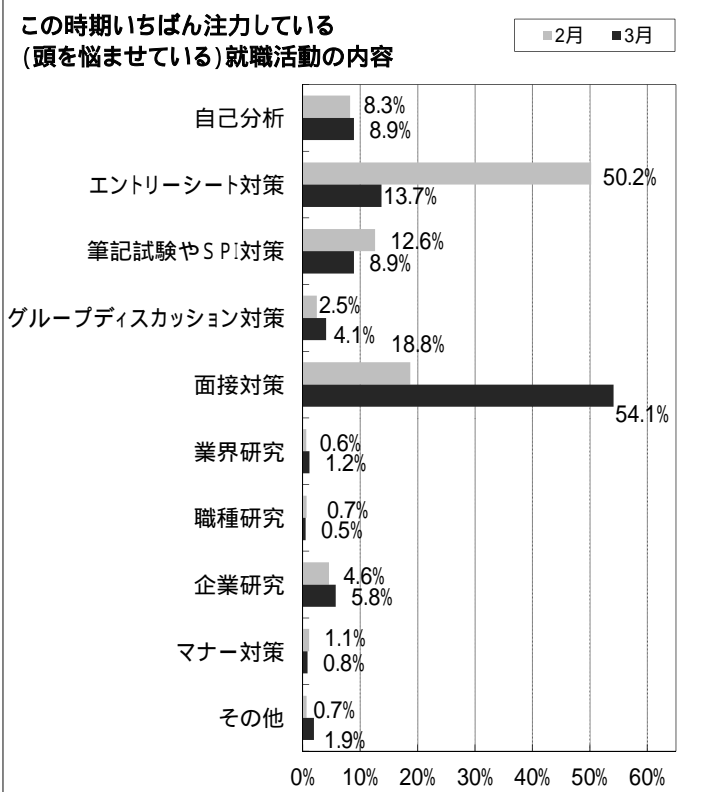
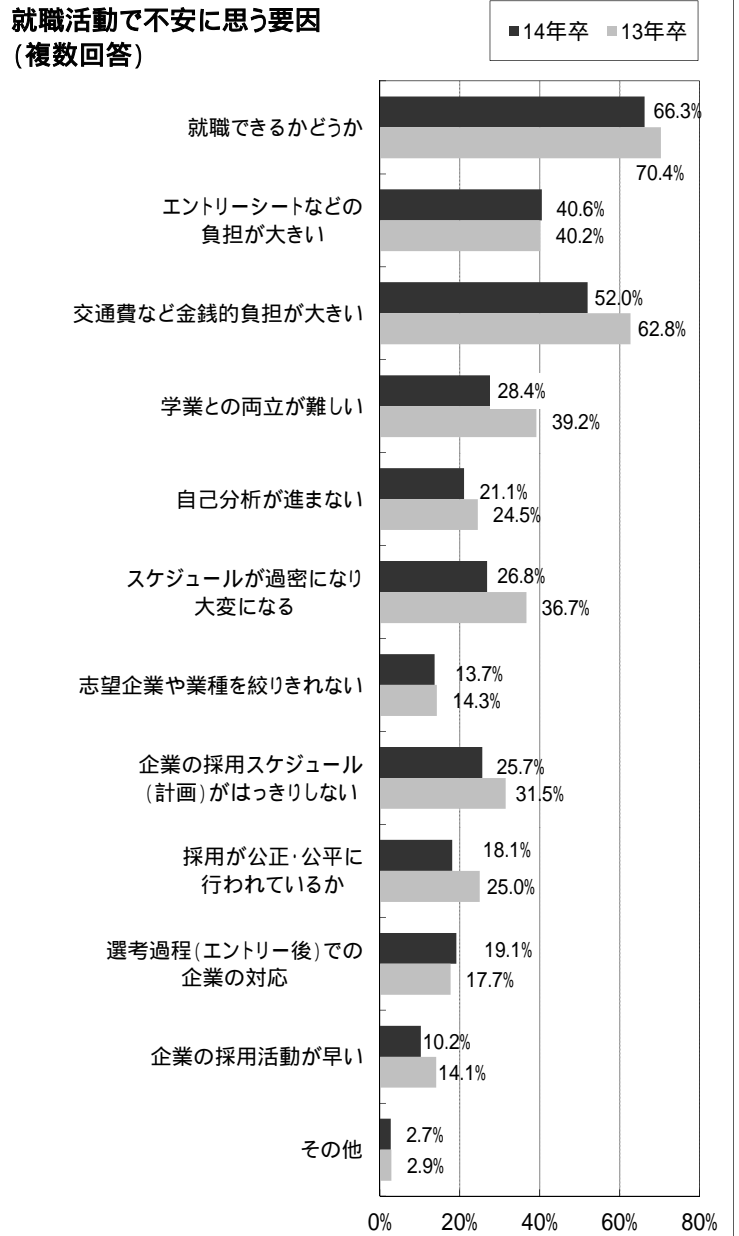
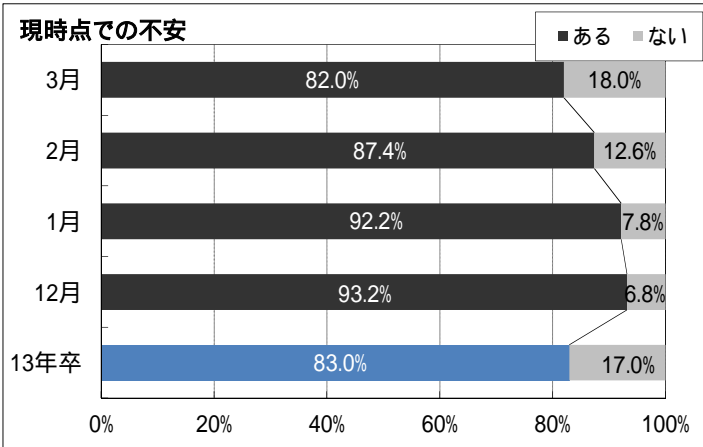
1日のうち就職活動に費やしている平均時間



<地域別>



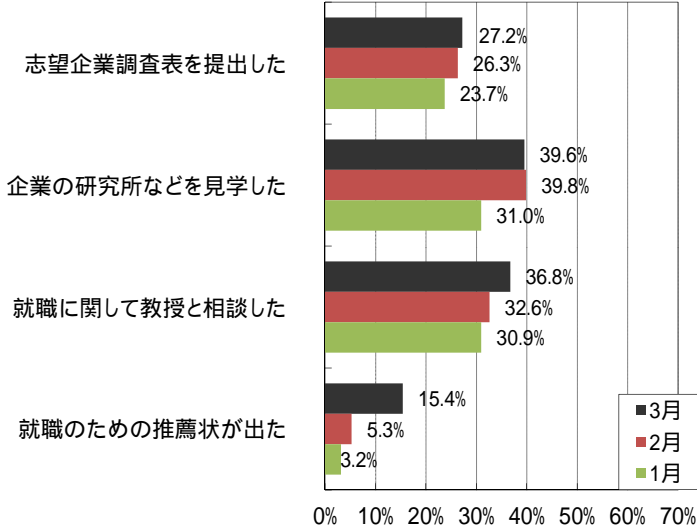
現時点での不安は「ある」が82.0%となり前年12月から11.2pt減と徐々に減少してきており、前年同月比でも1.0pt減となっている。不安に思う要因では、前月最も多かった「エントリーシートなどの負担が大きい」は25.7pt減の40.6%となった。この時期いちばん注力している就職活動の内容も「エントリーシート対策」は前月比36.5pt減の13.7%となり、代わりに「面接対策」が前月比35.3pt増の54.1%と最も多くなっている。現在の活動については、漸次大手企業中心から中小企業中心へと移行しつつあり、特に女子にその傾向が強い。就職活動を通じて現実的な視点で企業選択する姿が見られる。



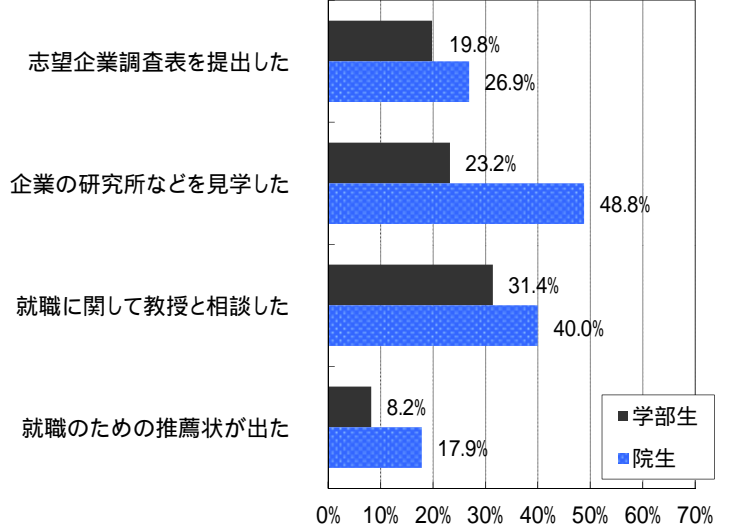
5: [理系]3月の活動状況

理系学生の活動状況では、「就職に関して教授と相談した」が前月比4.2pt増の36.8%と増えてきた。また「就職のための推薦状が出た」の割合も前月比10.1pt増の15.4%と大きく進捗している。特に機電系院生では29.0%と他系統の学生よりも推薦の動きが本格化している様子が窺える。一方で企業への応募方法では「自由応募と学校推薦・教授推薦の併願」が前月比3.5pt減少し、「自由応募のみ」が前月比4.0pt増の64.4%となった。推薦が出なかった場合に自由応募に切り替える学生が多かったのだろうか。また、1日の時間の使い方では、2月に引き続き春休み期間のため学部生は「大学での講義」、院生は「大学での研究」が割合を減らしたが、就職活動の時間も学部生、院生共に12月からの調査で初めて減少に転じた。内定が出て活動を終了または減少させた学生層の影響が出ていると推測される。

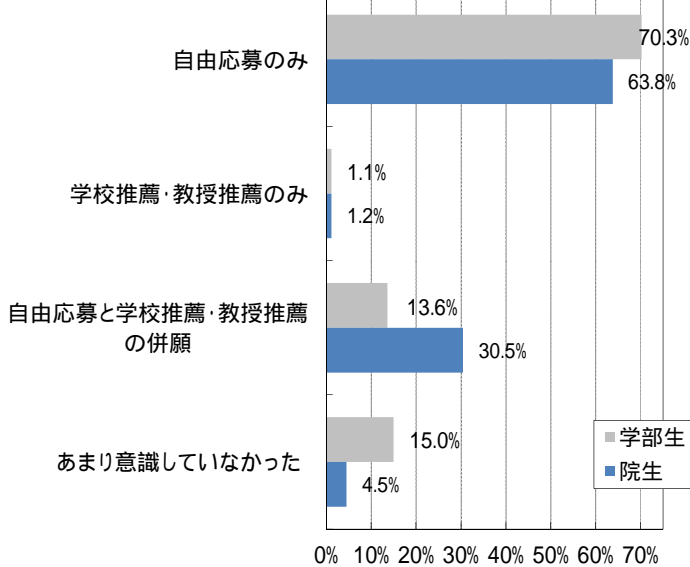
3月理系学生の活動状況(複数回答)



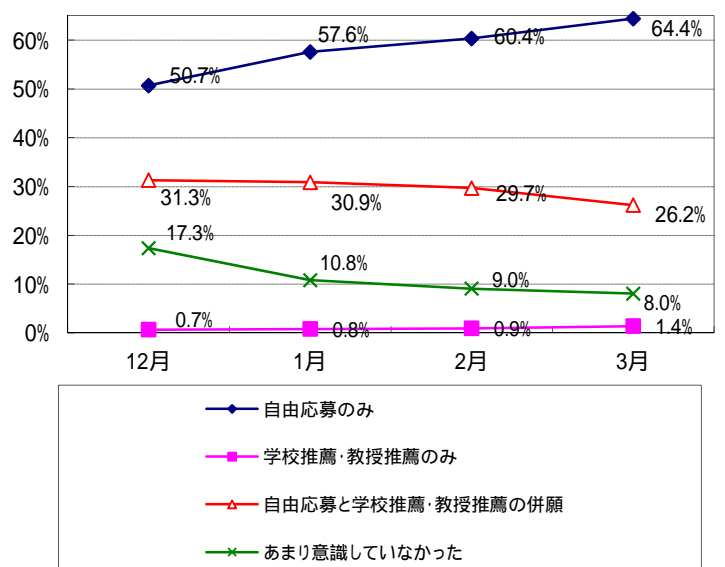
<学部生/院生別>



企業への応募方法(3月)



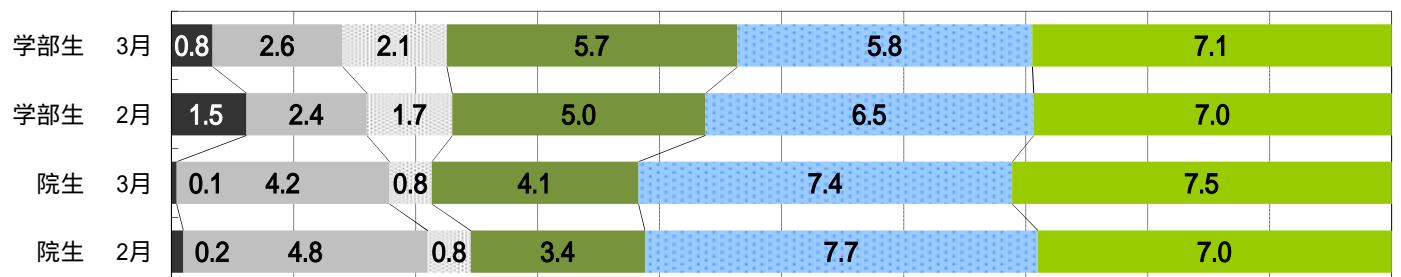
企業への応募方法(12月~)



現時点での1日の時間の使い方(平均)

【単位:時間】

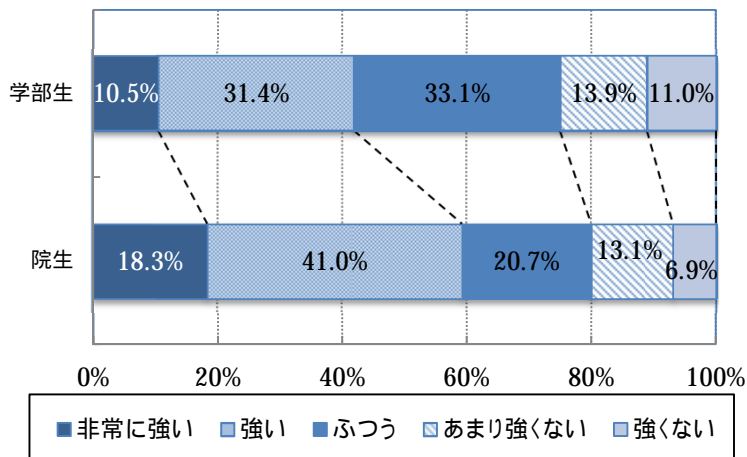
■大学での講義 ■大学での研究 ■アルバイト ■自由時間 ■就職活動 ■その他(睡眠時間含む)



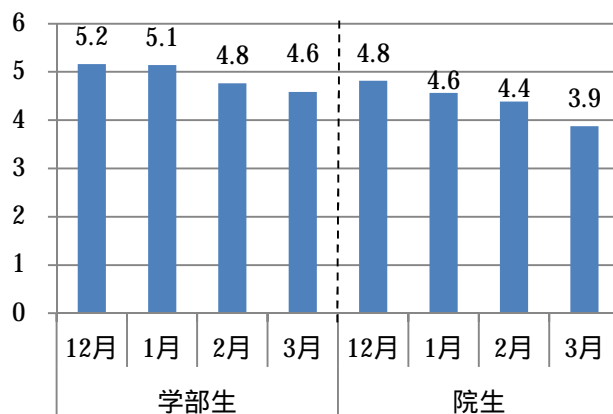
1日の時間の使い方を100%の割合で回答されたものを24時間に換算して表記

「現在の専攻を就職後も活かしたい割合」を12月の調査から比較してみると、学部生で - 0.6割、院生で - 0.9割と徐々に減少してきている。就職活動の進捗とともに徐々に自身の専攻に拘らず視野を広げているようだ。また、工場見学や研究施設見学の経験とそれによる志望度の変化を聞いてみると、理系学生全体で「上がることが多かった」が41.6%に対して「下がることが多かった」は2.8%と僅かだった。見学に行った平均社数では学部生、院生とも機電系の学生が最も多かった(学部生が2.6社、院生が3.2社)。志望度も上がる事が多く、機電系学生の獲得を目指す企業にとって工場見学や研究施設見学は有効な手段と言えそうだ。

自身の研究内容への興味は

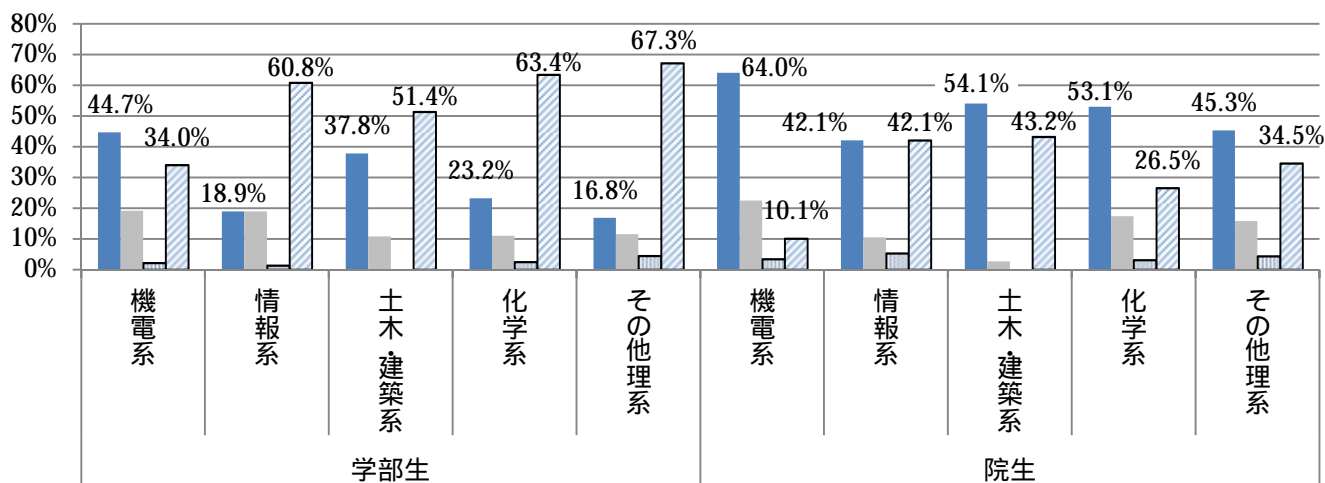


現在の専攻を就職後も活かしたい割合 (平均)
【単位:割】

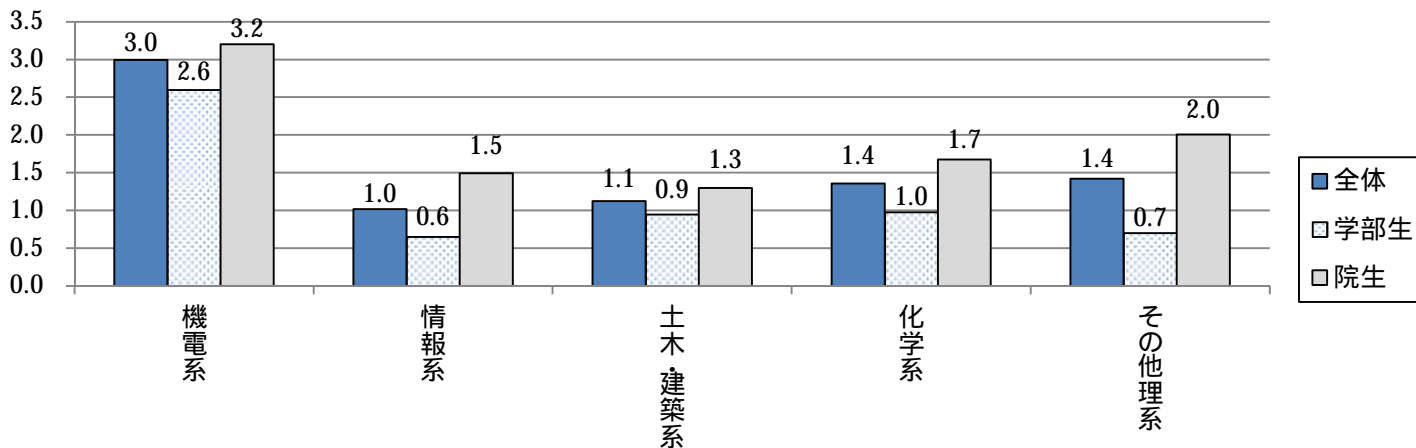


工場見学や研究施設見学の経験・志望度の変化

■ (志望度は) 上がることが多かった ■ (志望度は) 特に変わらないことが多かった □ (志望度は) 下がることが多かった □ 見学に行っていない



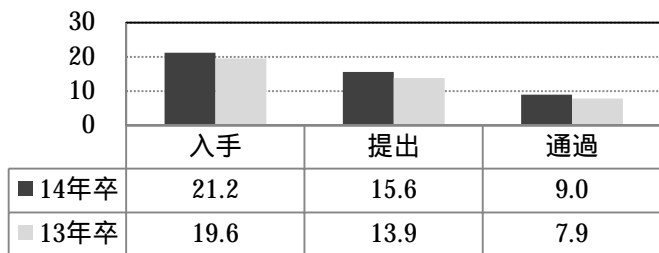
工場見学や研究施設見学に行った社数 (平均)



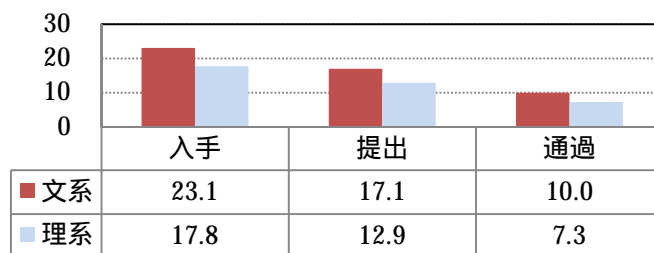
6: エントリーシートについて

2月までの調査でもエントリーシートの入手、提出の早期化が見られたが、3月も引き続きエントリーシートの入手、提出、通過の平均社数がいずれも前年を上回った。(入手・・・21.2社<前年比+1.6社>、提出・・・15.6社<前年比+1.7社>) エントリーシートの形式はWEBと紙のどちらが良いか聞いてみると、WEBが70.1%と多く、その理由として「 \times 切ギリギリまで書ける」「修正が楽」「作成の負担が少ない」などを挙げる声が多かった。一方紙が良い理由としては「自由にレイアウトできて個性が出しやすい」「気持ちが伝えやすい」などの声が挙がった。第一志望群の企業で提出しなかった経験を聞いてみると、前年比9.1pt増の47.0%が「ある」と回答した。 \times 切が早期に集中した上に提出社数が増えたことから、やむなく提出をあきらめたケースも多いのではないだろうか。複数 \times 切がある場合、早く提出した方が有利だと思うか、という問いでは80.8%が「(そう)思う」と回答したことから、早目に提出することで少しでも通過率を高めたいという思いが垣間見える。提出しやすい時期では、「1月」と回答した割合が前年比4.6pt増の13.7%となり、「4月以降」との回答も減少した。結果的に2月に提出が集中した今年の様相を反映した結果となった。

エントリーシート入手、提出、通過社数(平均)

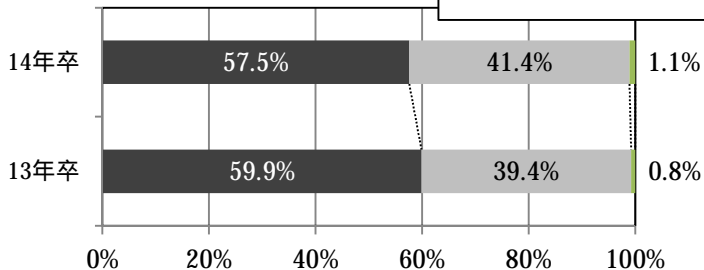


<文理別>

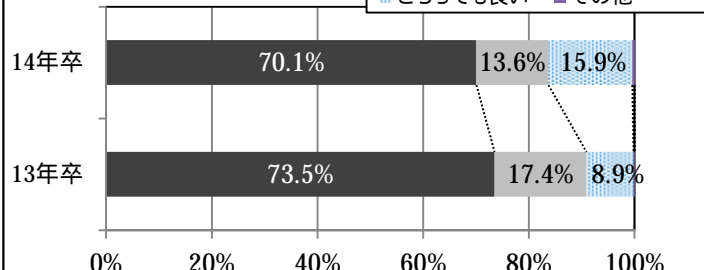


以下、エントリーシートを入手したことがある方のみ

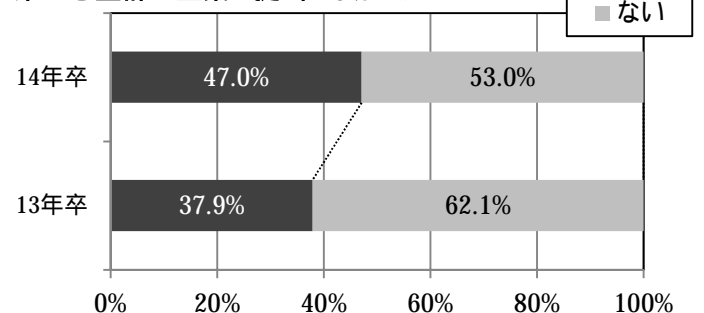
WEBと紙、どちらが多かったか



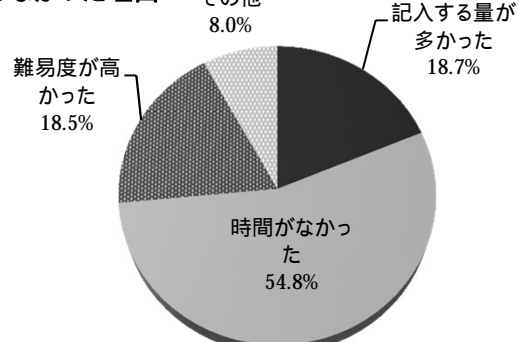
WEBと紙、どちらが良いか



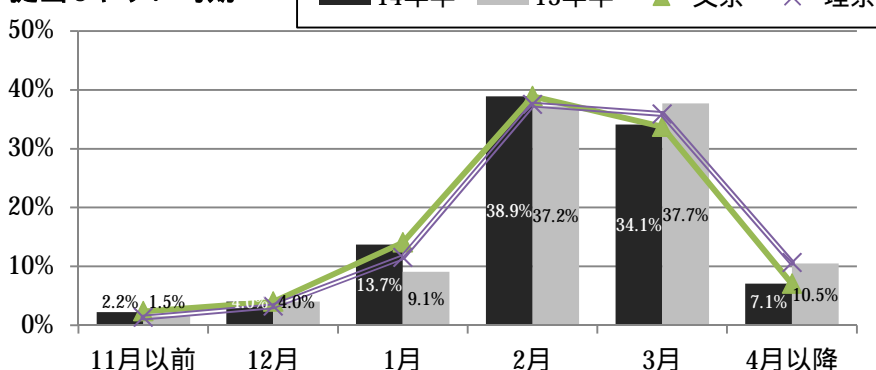
エントリーシートを入手した第一志望群の企業で提出しなかったこと



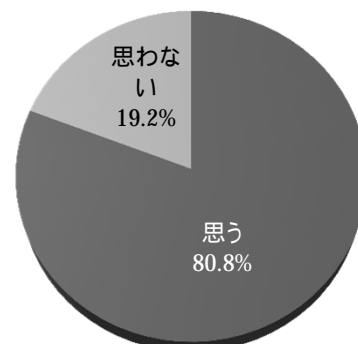
提出しなかった理由

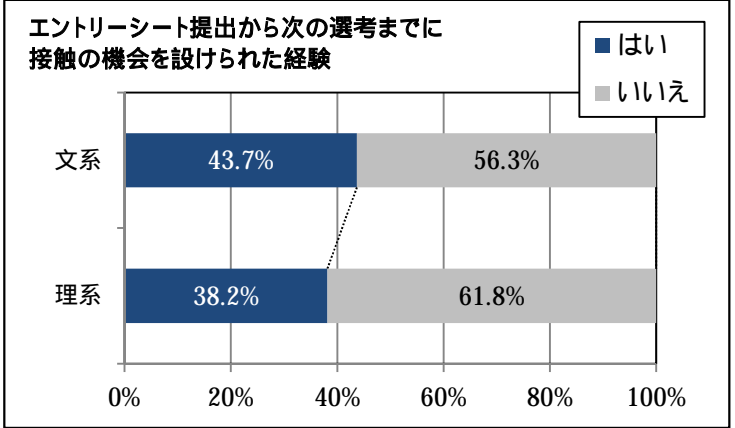
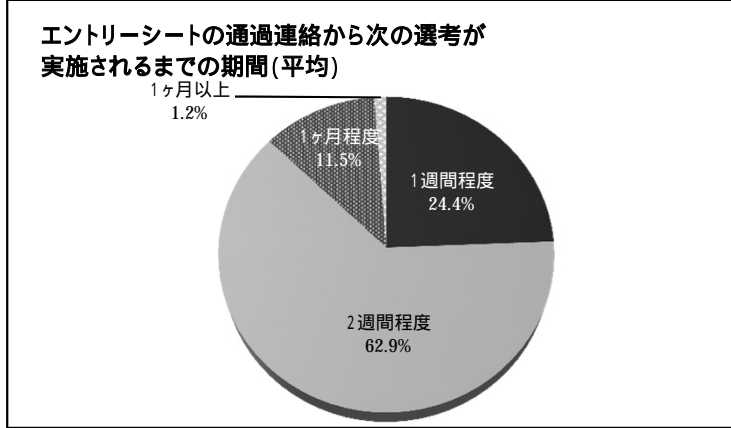
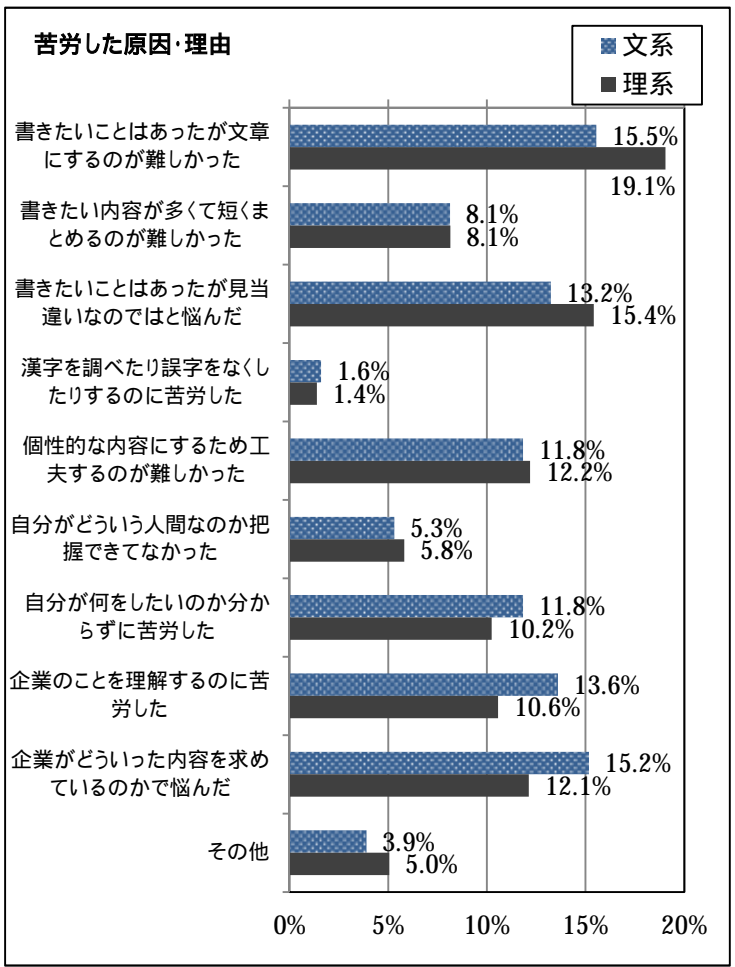
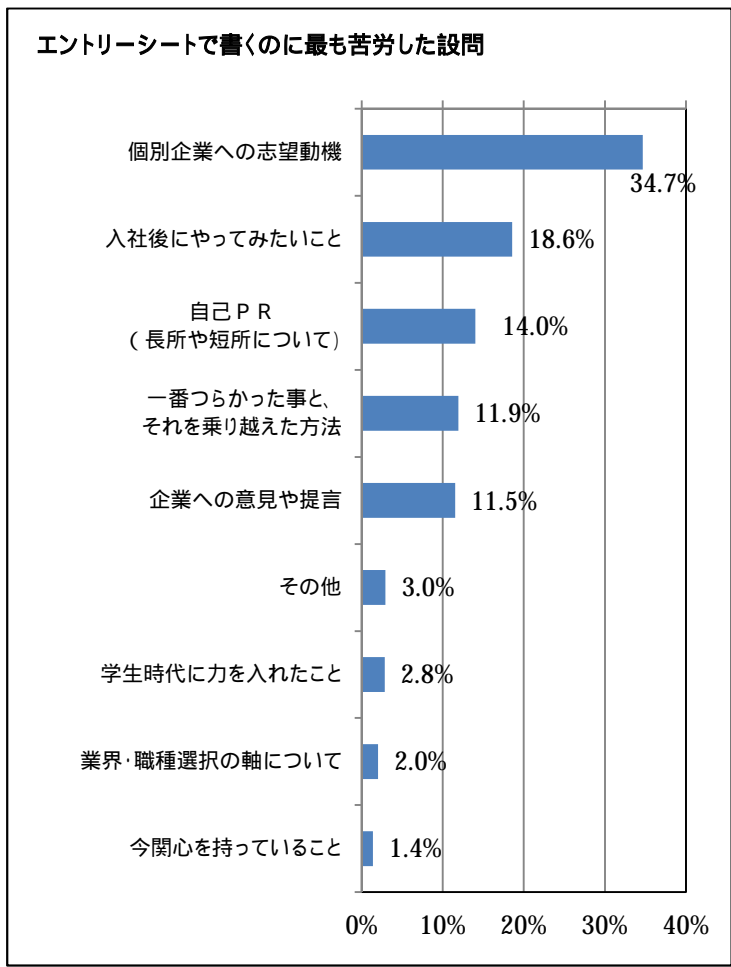
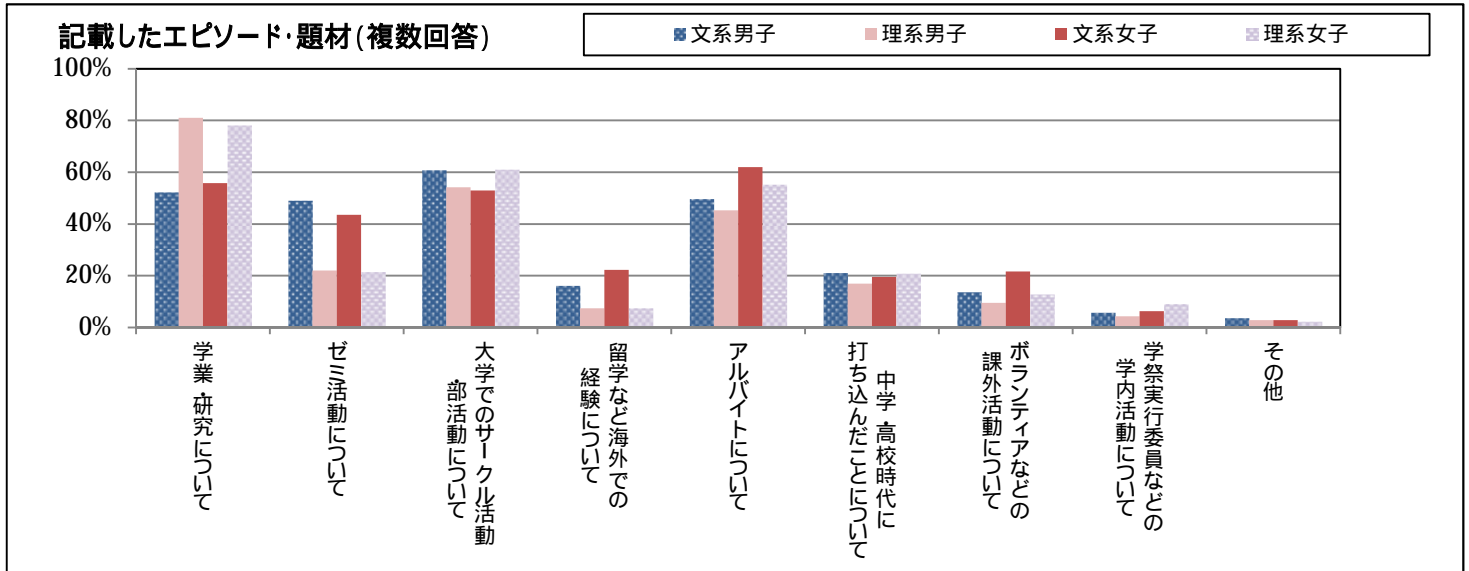


提出しやすい時期



エントリーシートの \times 切が複数ある場合、早く提出した方が有利だと思うか

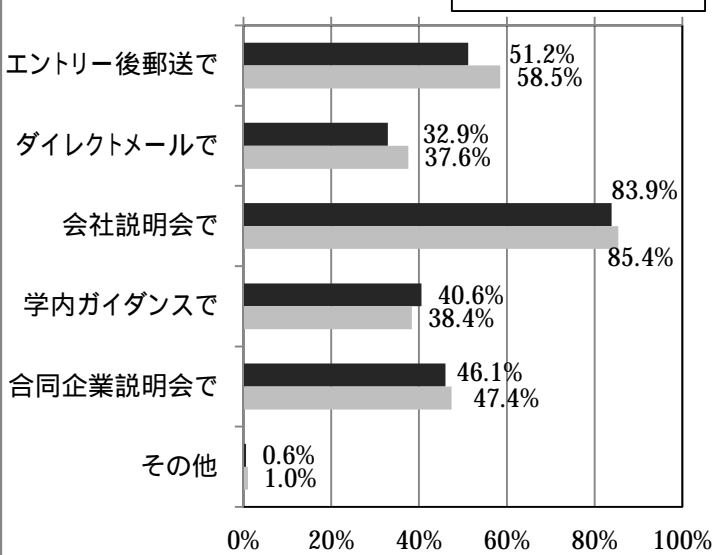




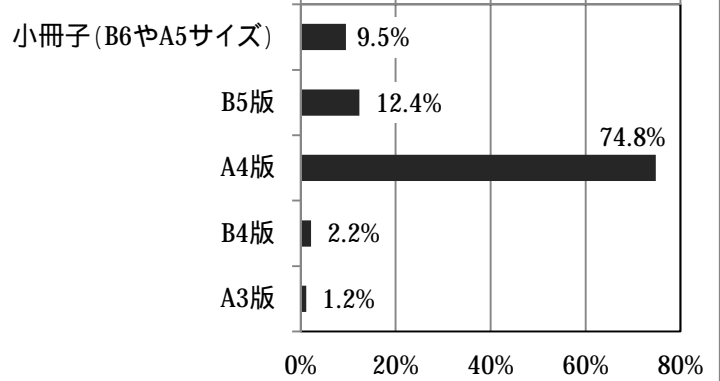
7:入社案内(パンフレット)について

入社案内の入手経路は「会社説明会で」が83.9%と最も高かった。良いと思うサイズについては「A4版」が74.8%と圧倒的に多く、良いと思うページ数は「16ページ」が35.7%で最多の回答となり、書類として整理しやすい一般的なサイズを好むようだ。企業の入社案内を見て志望度が変わったことがあるかという問いでは60.0%が「ある」と回答し、そのうち87.6%が「志望度が上がることが多かった」と回答した。入社案内でよく見る情報としては、「会社概要」「職種情報」「採用方針(求める人物像・採用メッセージなど)」が多く挙げられた一方、選考前ではエントリーシート提出前に比べると「募集要項」「給与・休暇や福利厚生」を見る割合が相対的に下がっている。

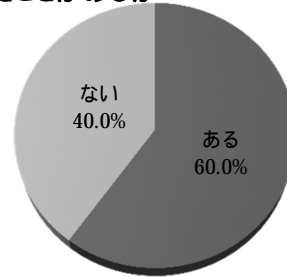
入社案内の入手経路



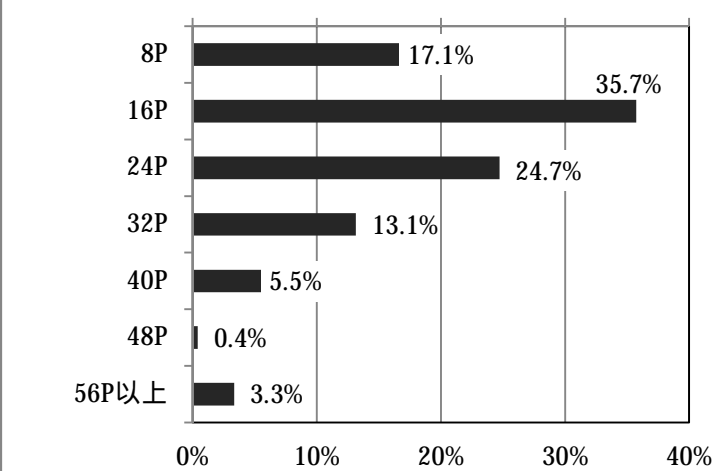
良いと思う入社案内のサイズ



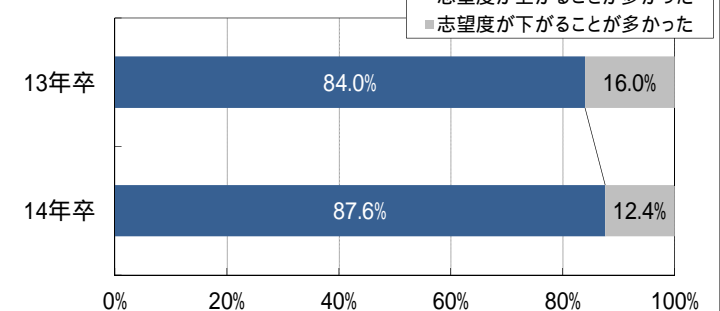
企業の入社案内を見て志望度が変わったことがあるか



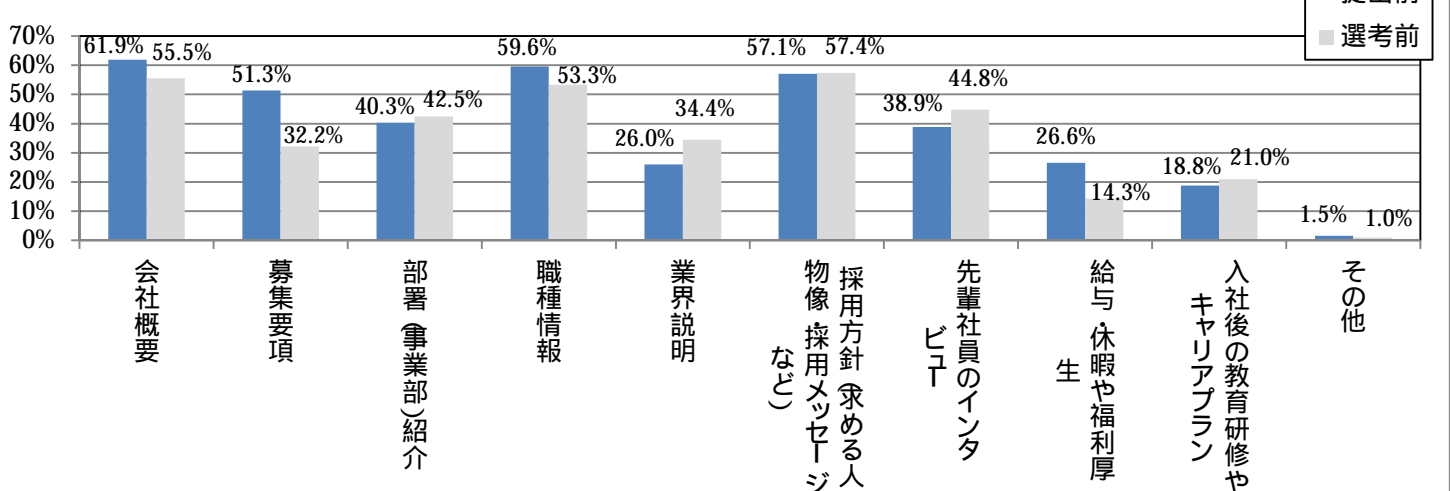
良いと思う入社案内のページ数



志望度がどのように変わったか



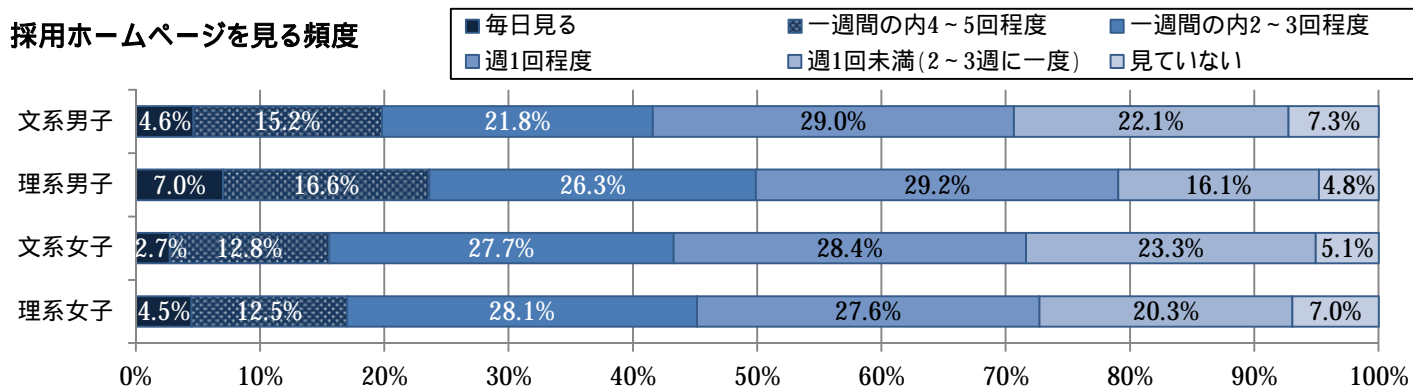
入社案内でよく見る情報(複数回答)



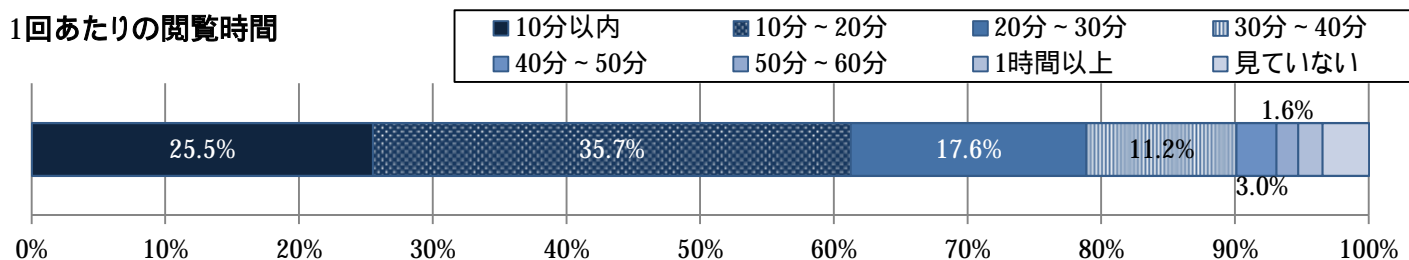
8:企業の採用ホームページについて

志望している企業群の採用ホームページを見る頻度を聞いてみると文理男女で差が出る結果となった。特に理系男子は閲覧頻度が高い傾向にあり、「一週間の内2～3回程度」以上の頻度で見るという回答が半数を占めた。1回あたりの閲覧時間は「10分以内 + 10分～20分」の回答合計が61.2%となり、さっと目を通す程度が多いようだ。また、ホームページを見る手段は「(自宅 + 学校の)PC」が文理共に8割を超え、スマートフォンでの閲覧は文系で13.7%、理系で7.1%に留まった。スマートフォン向けに最適化されていないホームページが多いことも閲覧が少ない一因と思われる。特に文系女子を中心に「最適化されていた方がいい」と考える傾向があるようだ。

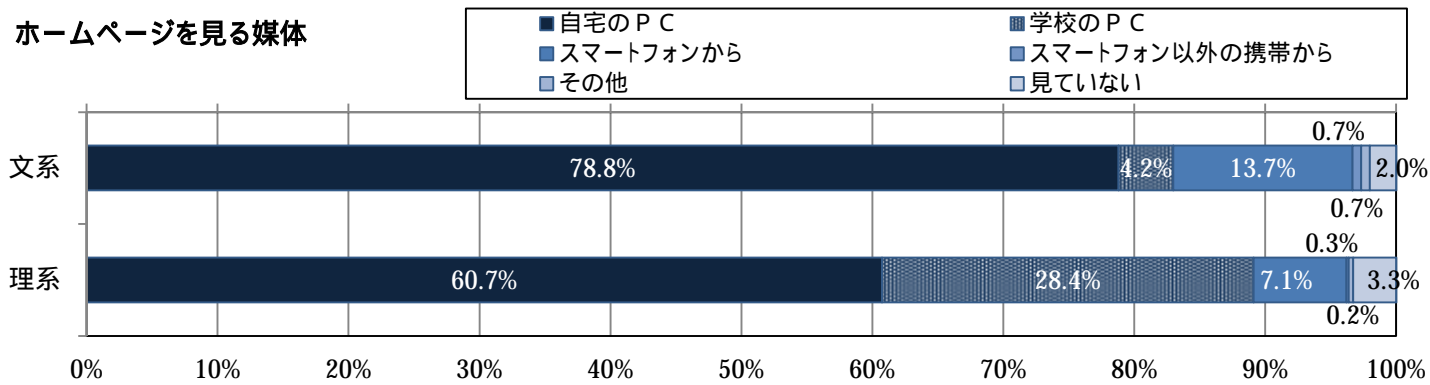
採用ホームページを見る頻度



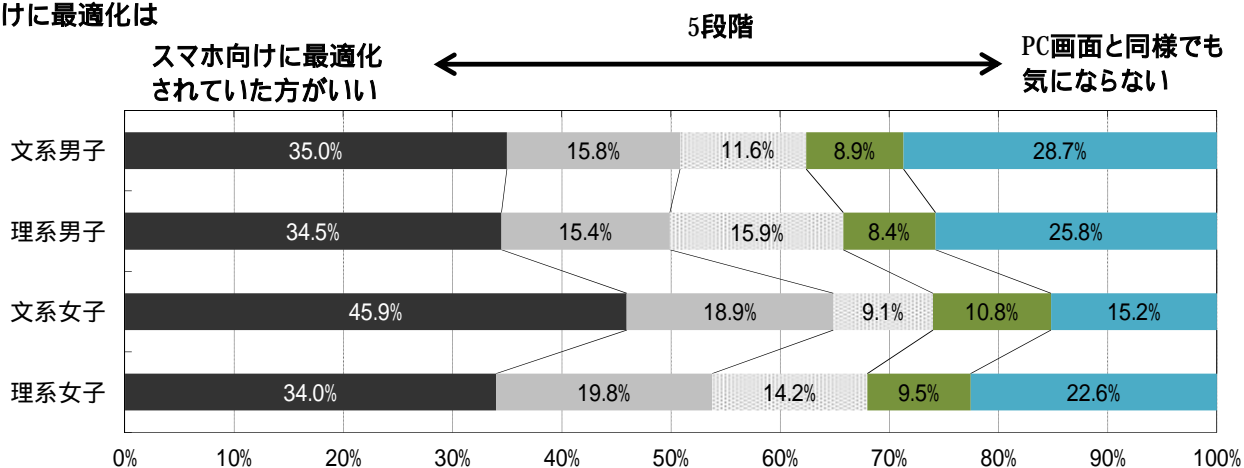
1回あたりの閲覧時間



ホームページを見る媒体

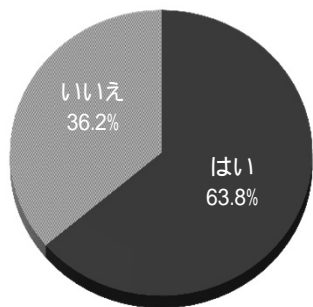


スマホ向けに最適化は

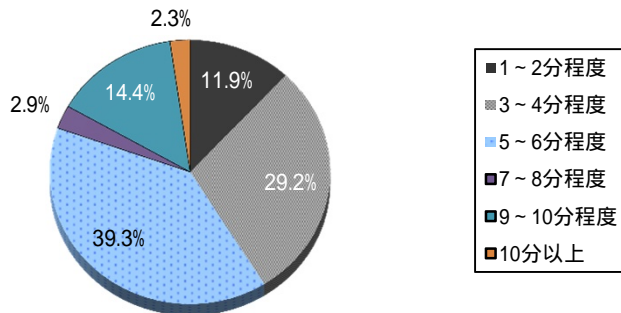


近年、動画コンテンツを掲載している採用ホームページも多くなっていることから、その閲覧の経験を聞いてみたところ63.8%が見たことがあると回答した。適当だと思う動画コンテンツの長さ(時間)は、「5～6分程度」が39.3%と最も回答が多く、「3～4分程度」が29.2%で続いた。長すぎず短すぎない動画が好まれるようだ。採用ホームページを見て志望度が変わったことがあるかを聞いてみると「はい」と回答した割合は47.7%で、入社案内よりは志望度への影響力は低いようである。ただし、志望度が変わったことがある場合には「志望度が上がるが多かった」が88.5%と圧倒的に高い。それぞれのフェーズでよく見る情報については、エントリー時には「会社概要」「募集要項」「職種情報」、エントリーシート提出や選考前には「職種情報」や「採用方針(求める人物像・採用メッセージなど)」を見る人が多いようだ。

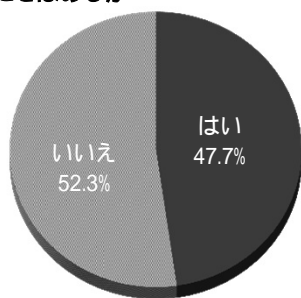
企業ホームページでの動画コンテンツを見たことがあるか



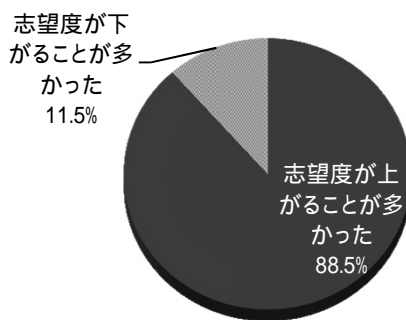
適当だと思う動画コンテンツの長さ



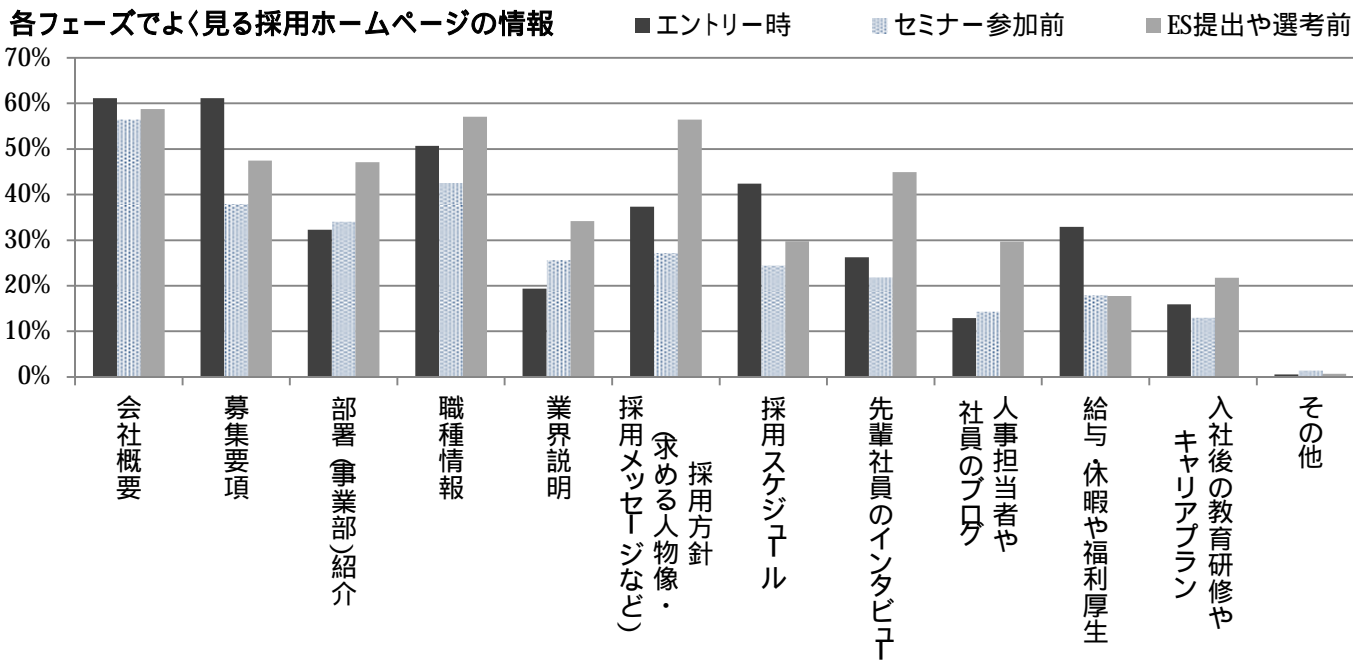
企業の採用ホームページを見て、志望度が変わったことはあるか



どちらの方向に変わったことが多いか

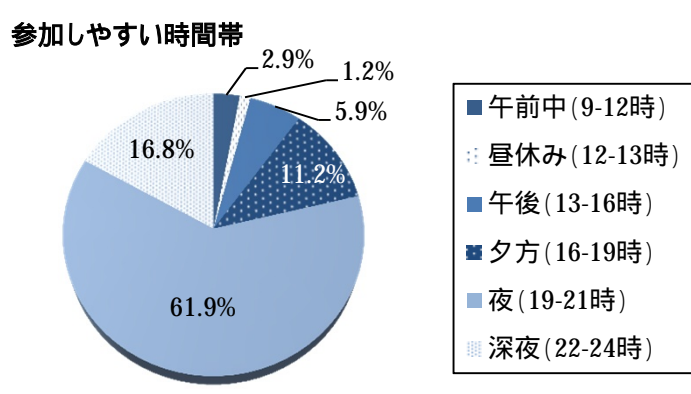
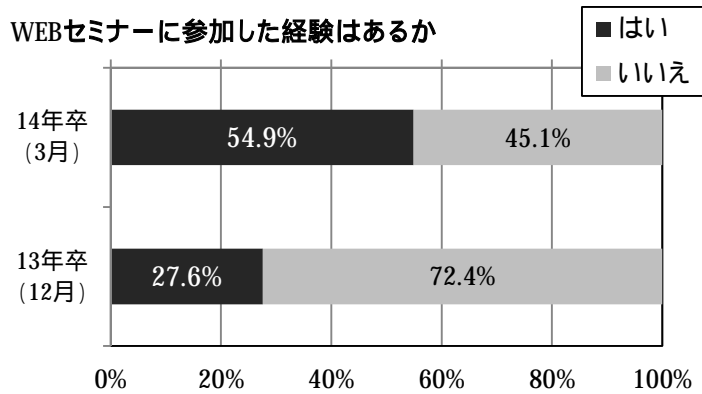


各フェーズでよく見る採用ホームページの情報

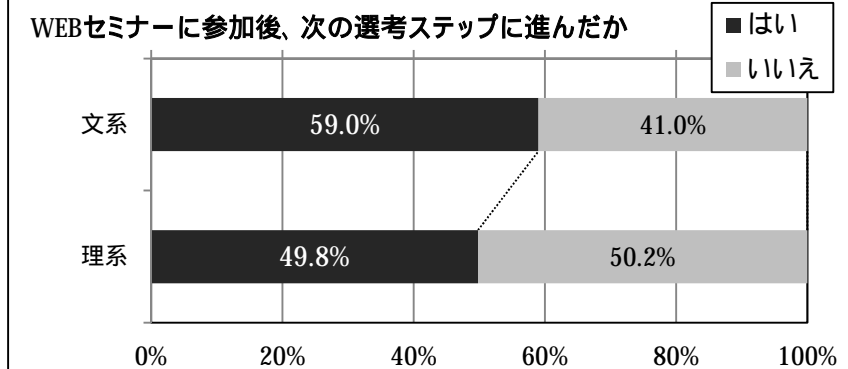
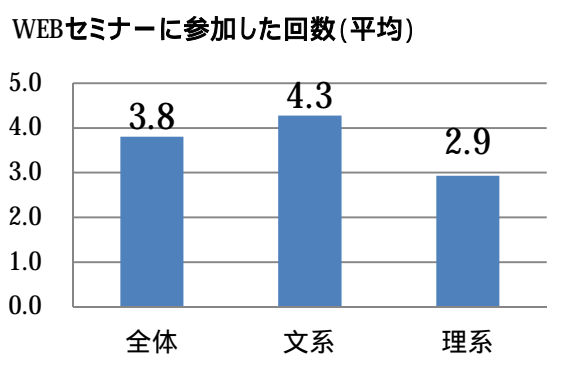
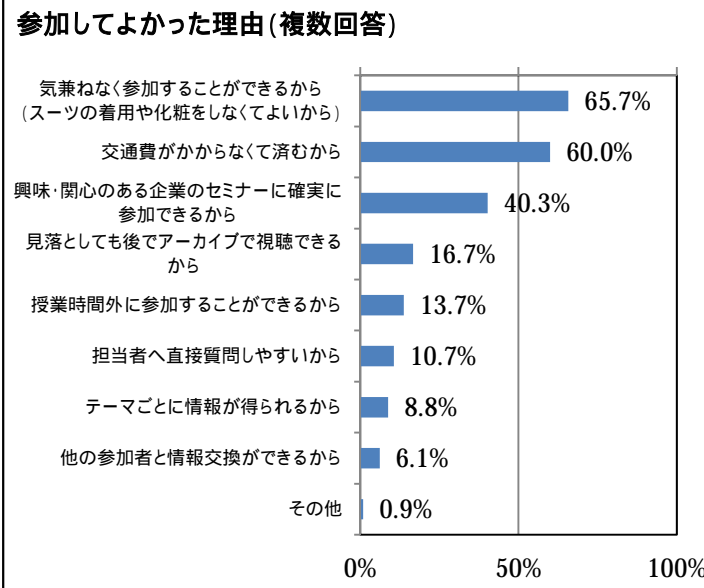
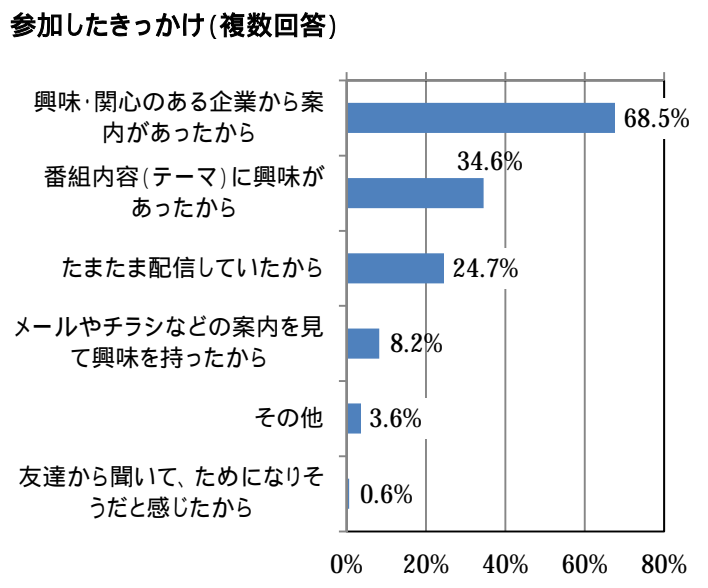
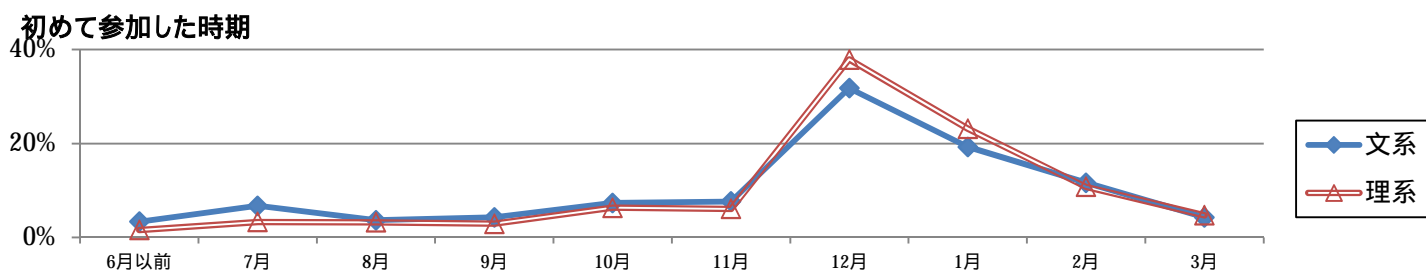


9:WEBセミナーについて

WEBセミナーに参加した経験があるか聞いてみると、前年12月の同アンケートでは「はい」が27.6%だったのに対して、今回は54.9%と過半数を超え、利用率が上がってきていることがわかる。参加しやすい時間帯は「夜(19-21時)」が61.9%と最も多く、日中の通常のセミナーとは異なる時間帯の方が参加しやすいようだ。参加して良かった理由としては「気兼ねなく参加することができるから(スーツの着用や化粧をしなくてよいから)」が65.7%と最も多く、次いで「交通費がかからなくて済むから」が60.0%と続いた。金銭的コストだけではなく“気軽さ”も参加のメリットとなっているようだ。平均参加社数は文系で4.3回、理系で2.9回と文理で差が出ている。地域別では「その他」エリアが4.3回と多い。参加しなかった学生にその理由を聞いてみると「時間的に間に合わないため」が23.5%、「実際の説明会に参加したほうが効果的だと感じたから」が22.1%で回答の上位を占め

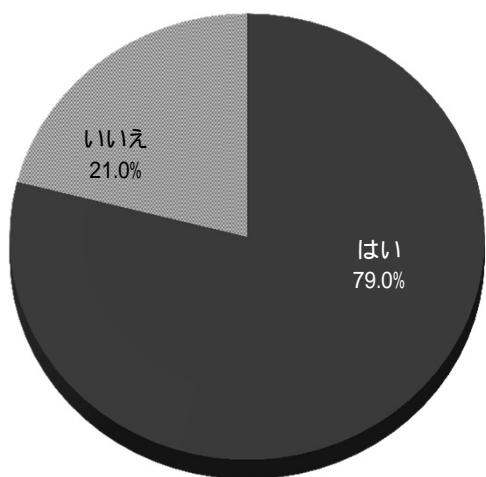


以下、参加したことがある方のみ回答

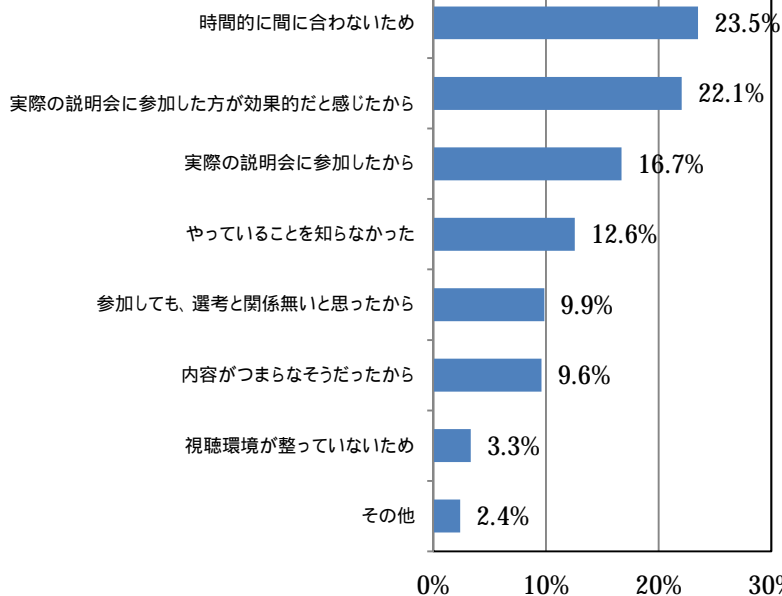


以下、WEBセミナーに参加したことがない方のみ回答

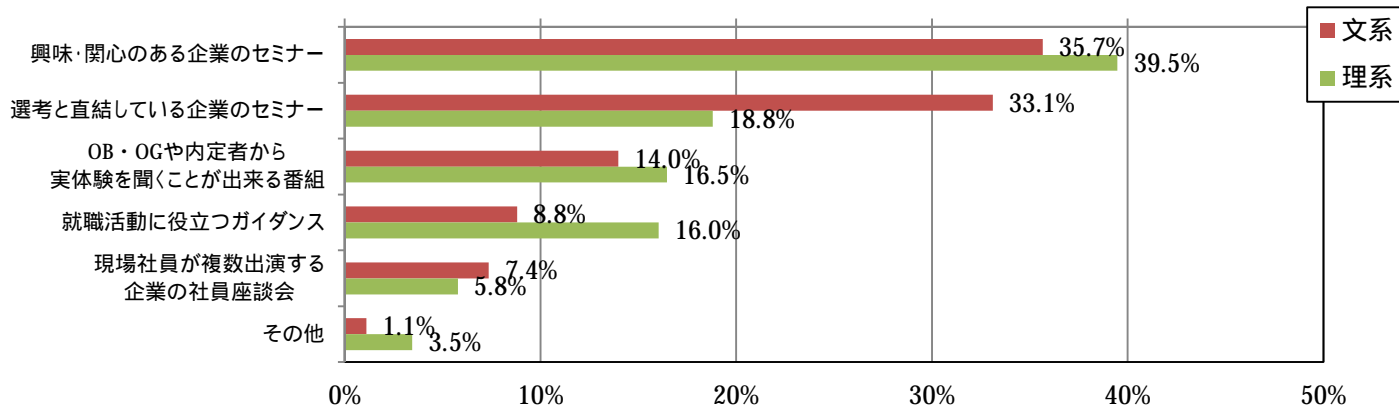
WEBセミナーを知っていたか



参加しなかった理由



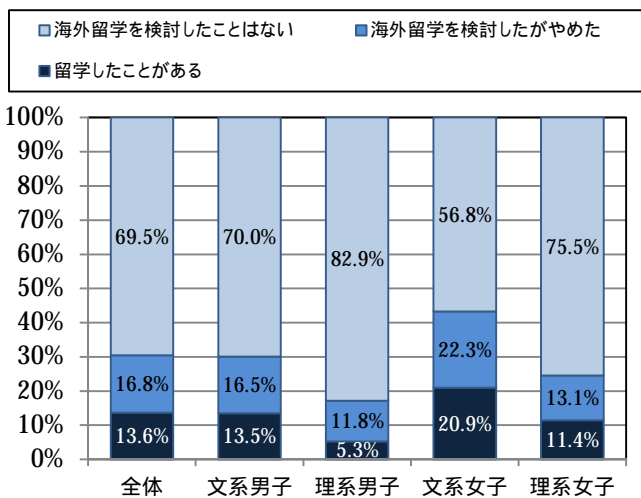
「こんなWEBセミナーだったら参加してみたい」と思える内容



【特別調査】

10: 海外留学について

海外留学をした、もしくは検討したことがあるか



グローバル人材の育成と就職活動の時期についての報道が昨今増えてきている。そこで海外留学の検討経験と主な障害について聞いてみた。海外留学した、もしくは検討した経験を聞いてみたところ、全体の69.5%が「検討したことはない」と回答した。また、留学をした、もしくは留学を検討した学生に、感じた主な障害を聞いてみたところ、「経済的な負担が大きい」が文理それぞれ68.9%、64.4%と最も多かった。

留学をした、もしくは検討したことがある方のみ回答
留学した、もしくは留学を検討した時に感じた主な障害は
(最大2つ選択)

